

古墳の被葬者とその変化

田中, 良之
九州大学文学部九州文化史研究施設

<https://doi.org/10.15017/1657372>

出版情報：九州文化史研究所紀要. 38, pp.61-124, 1993-03-30. 九州大学文学部九州文化史研究施設
バージョン：
権利関係：



古墳の被葬者とその変化

田 中 良 之

一、はじめに

古墳に埋葬されたのがどのような人々であったかについては、階層・職掌、政治的ネットワーク等についてこれまでに多くの研究が蓄積されている。しかし、古墳に埋葬されたのは当時の社会集団の全員ではなく、そこから選択された人物たちであることはいうまでもない。その選択性あるいは象徴性に着目して、家族を含めた社会集団の特質を明らかにしようとする試みも行われてきた。

まず、小林行雄は、『日本考古学概説』中で古墳被葬者の関係について、一古墳における二体の埋葬を一組の夫婦とし中国漢代の墓制に相当するという見解に対して、「むしろ、わが国では家族の単位としての夫婦よりも、氏族としての血脈のつながりが、墳墓を共通にする資格として、一層重んぜられていたのではないかと思われるふしがある」としている（小林一九五二）。小林は、その後も、古墳時代前期には男系世襲制が成立しており、前期古墳には配偶者を含まない血縁者、後期古墳には夫婦を中心とした家族が埋葬されたとしている（小林一九五九）。このような小林の見解は、具体的な事例をあげた実証的研究に裏付けされたものではないが、少なくとも後期古墳に関しては、横

穴式石室あるいは群集墳を家父長制的家族の墓とみなす見解（近藤一九六六）にうけつがれ、こんにち一般的認識となつていいだらう。

間壁葎子は、古墳に埋葬された男女比が男性優位であることから、小林の男系世襲制説を支持し、女性被葬者はいわば皇后的立場の人物であり、当時の女性は首長の妻であることによつてのみ社会的地位が承認されるものであつたとした。そして、まれにみられる同一主体部への男女の埋葬は、夫婦のものであらうとした（間壁一九六二）。この間壁説では、女性単体埋葬例の説明が苦しくなる。というのも、これが首長の妻とするなら、首長その人の墓として、同規模かそれ以上の規模をもつ同時期の古墳が近隣に存在しなければならなくなるからである。これについて、間壁はその後、女性単体埋葬の古墳は「海と陸との関りで要路のような場所」に立地するもので、「これらの古墳の主は、海を渡つて往來する男たちが多くなつた時、遠い地の彼らとの結びつきによる『妻の座』の女性で、彼女たちは、在地豪族の勢力を負う立場にもあつたのだらう。夫たちは本来その地には帰らない者たちであつたようにも思われる。ここでは女性が一族の勢力を代表していることになる」と説明している（間壁一九八七）。しかし、この説明では、女性単体埋葬墓は全て海浜部に立地しなければならず、また、「在地豪族の勢力を負う立場」を保証するのが「遠い地の彼らとの結びつきによる『妻の座』であるというのも苦しい説明であるように思われる。

佐田茂は、古墳に葬られた被葬者の数から後半期古墳（佐田一九七二）、横穴墓（佐田一九七九）を検討しており、筆者らの研究成果（田中他一九八五、田中・土肥一九八六）に基づきつつ六世紀中葉に被葬者構成に画期があることを主張している（佐田一九八八）。

また、古墳時代における女性の地位を考察した今井堯は、単体で埋葬された女性はいわば女性首長であつたとした。そして、古墳時代は、高群逸枝のいうヒメ・ヒコ制（高群一九五四）の可能性もあるが、男性は軍事、女性は祭祀という分業にしては女性被葬者にも武器類や生産用具が副葬されているので、その可能性は低く、やはり同一埋葬の男

女は夫婦であり、男女一対の首長であつたろうと考えた（今井一九八二）。ただ、政・祭分離型のヒメ・ヒコ制ではなく、協同統治型のヒメ・ヒコ制ならばありうるとも述べており、むしろ一対の男女による共同統治であつたという点が今井の論の主眼であつたように思える。

前期古墳の多葬事例を全国的に分析した松尾昌彦も、武器・武具類の副葬品中に占める比率に二つのピークがあることを指摘し、碧玉製品と銅鏃がそれぞれと相關する傾向があることを示した。そして、この二つの傾向が男女に対応することを示唆しつつ、古墳時代前期においては性格の異なる複数の首長が連立して統治していたのではないかと結論した（松尾一九八三）。

辻村純代は、東中国地方における箱式石棺の複数埋葬例を集成し、人骨の頭位が出自を表すという仮定のもとに被葬者の構成を検討して、直系家族集団の形成に一步近づいているものの、妻は夫方氏族に同化されず、「夫婦、親子、兄弟姉妹といった個別の関係よりも、父系同族（擬制的父系血縁集団）であるが否かが親族関係の根幹をなしていた」として、上述の小林と同様な結論を得ている（辻村一九八三）。

また、辻村は、九州地方の箱式石棺の複数埋葬例も同様の方法で検討し、同様な結論を得たとしている。その中で、弥生時代から父系制社会が成立していた畿内と、九州および吉備地方では父系制のあり方が異なり、前者では女性結婚後の族籍が夫族に加わるのに対して、後者では夫族に成員権を有しなかったとしている（辻村一九八八）。

以上の古墳時代親族構造に関する研究は、現状での問題点を以下のように要約することができるだろう。

まず、古墳時代の後期に関しては、夫婦を中心とする家族墓であつたとする小林の説に大きな異論はなく、前期の被葬者に関して意見が分かれているということである。これは、同世代男女をどう見るかという点と、女性単体埋葬の評価で各説がある。前者については、夫婦とする説と、兄妹（姉弟）のいわばヒメ・ヒコであるとする説があり、後者については、首長の妻、出自集団内の女性などの考えを示されている。しかし、その他の被葬者の組み合わせも

存在することから、これらを包括的に説明しうる基本原理を抽出する必要がある。辻村の説は、その試みとすることができようが、非父系同族の夫婦と父系同族の夫婦がともに埋葬されることになっていて、システムとしては交錯したものになっている。つまり、求められる基本原理は、現実の変異を包括的に説明し、集団間の共時的関係と集団内の世代間継承という通時的関係の双方を矛盾なく説明できるものでなくてはならない。

しかし、それよりも重要なのは、これらの方法、特に複数埋葬の分析において、同時埋葬でなく追葬によるとしながらも、追葬までの間隔を短く想定し、同時死亡と変わらない程度に考えている点である。埋葬間隔の長短は調査時における副葬品の帰属や層位的所見とともに、人骨埋葬状態の観察にもかかっているわけであり、そのような問題意識をもって人骨が観察され取り上げられることはむしろまれであったと考えられるが、筆者が経験した調査の中でも、石棺墓の複数埋葬例で一〇―二〇年ほどの間隔を置いて追葬した例は少なくない。このような場合には被葬者構成の具体像は大きく異なることになる（田中・土肥一九八九）。また、頭位を出自表示と考えたり、同世代男女を夫婦あるいはキョウダイとするのはあくまでも仮定にすぎないにもかかわらず、これを検証する努力や試みはなされていないのである。⁽¹⁾

これらに対して筆者らは、考古学的方法に形質人類学的方法を加えるという方法で、いくつかの事例研究を行ってきた。そして、これらと西日本におけるいくつかの人骨出土古墳を分析し、通時的展望を示している（田中・土肥一九八六・一九八七・一九八九）。また、まとまった資料が得られている山口県朝田墳墓群については、埋葬システムおよび派生する問題について分析と考察を行っている（田中一九九〇）。これらの概要は、四―五世紀代においては兄妹・姉弟・兄弟・姉妹が埋葬され（基本モデルⅠ）、五世紀後半になると父（家長）とその子たちへ（基本モデルⅡ）、六世紀に至って家長夫婦とその子たち（基本モデルⅢ）へと変化するというものである。

ただ、この方法が効力を発揮するのは人骨の保存が良好で埋葬順位などの考古学的情報が豊かな古墳においてであ

り、したがって事例の数はそう多くは望めないということも事実である。しかし、基本モデルⅠからⅡへの移行は父系的編成への変化を示すものであり、上ノ原横穴墓群の事例から造墓契機が男性家長の死であったことがうかがえる（村上・一九八五）。したがって、基本モデルⅡが現れる五世紀後半の以前と以後で、古墳を築造する契機となった被葬者の性別に変化があるという想定が成り立つのである。そこで、小稿では造墓契機となった被葬者、すなわち単体被葬者および複数埋葬における初葬者の性別を検討し、あらためて古墳時代における親族関係の変化を考察するものである。

二・単体被葬者・初葬者の性別

表1は、人骨出土古墳で被葬者の性判定が行われたもののうち、単体埋葬および初葬者の性別が明かなものを示したものである。原則として、一墳一主体における単体埋葬と複数埋葬、一墳複数主体における単体埋葬と複数埋葬の四つのケースに分けて作成されている。これまで管見にふれた事例をもとに作成したが、遺漏は多いと考えられる。今後増補改訂を行なっていくことにしたい。また、南九州については、これまで調査された事例の報告がほとんど未刊であるため、今後の資料報告を待つことにして今回の検討からは除外した。あわせて了とされたい。

さて、表1から看取されることは以下のとおりである。

まず、単体埋葬の事例をみると、五世紀後半までの古墳時代前半期では

男性六一例（六〇・四％）

女性四〇例（三九・六％）

五世紀後半以降の後半期では

男性三六例（七〇・六％）

女性一五例（二九・四％）

であり、後半期になると男性がやや多くなる傾向がある。

次に同一墳丘に複数の単体埋葬の主体をもつ事例は、後半期が男性埋葬の一例のみであるため前半期を示すと、

男性二七例（六一・四％） 女性一七例（三八・六％）

であり、単体埋葬とはほぼ同じ比率を示す。

一 主体複数埋葬例における初葬者の性別をみると、前半期では

男性一五例（六五・二％） 女性八例（三四・八％）

という単体埋葬と大差のない比率を示し、後半期になると

男性二五例（八三・三％） 女性五例（二六・七％）

と男性初葬の事例がほとんどとなる。

また、同一墳丘に複数の複数埋葬の主体部をもつ事例は、前半期のみしかなく、

男性四例（四〇％） 女性六例（六〇％）

と女性被葬者の方が多くなっている。

ところで、一墳丘一主体の事例と複数主体の事例とでは、後者において主体部間に副葬品や構造に格差が認められる場合もあるため、いちがいに同一視できないが、単体埋葬の事例をみても性構成に大差はなく、複数埋葬の事例でも女性が高率であるという点で共通性がある。そこで単体埋葬の事例および同一墳丘複数主体の単体埋葬例を合わせてみると、前半期で

男性八八例（六〇・七％） 女性五七例（三九・三％）

後半期で

男性三七例（七一・二％） 女性一五例（二八・八％）

となる。複数埋葬の事例も同様にして合計すると、前半期では

男性一九例（五七・六％）

女性一四例（四二・四％）

後半期では

男性二五例（八三・三％）

女性五例（一六・七％）

である。

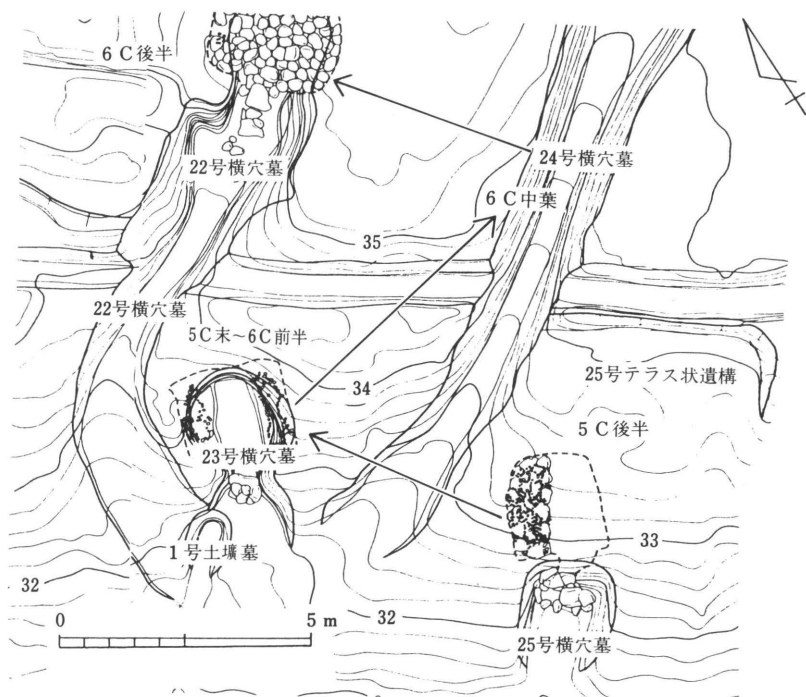
三・被葬者構成の変化と親族関係

さて、前節における結果を比較すると、前半期に比べて後半期になると明らかに男性が優勢になることがまず看取される。しかし、単体埋葬と複数埋葬ではやや状況が異なっている。すなわち、前半期においては男女が六対四の比率であるが、後半期になると単体埋葬が七対三であるのに対して、複数埋葬は男性が八〇％をこえる高率を示し、両者に一〇％以上の相違が認められるのである。一古墳に単体で埋葬された被葬者はいうまでもなくその造墓の契機となった人物であるが、同一墳丘複数主体における単体埋葬例はそれとは性格が異なる可能性も考えられる。しかし、後者における後半期の単体埋葬例は既述のように男性埋葬例一例のみであるため、基本的に一古墳単体埋葬例の値といつてよいものである。また、同一墳丘複数主体複数埋葬例は前半期のみであることから、後半期の値は一墳丘一主体複数埋葬例のみのものである。

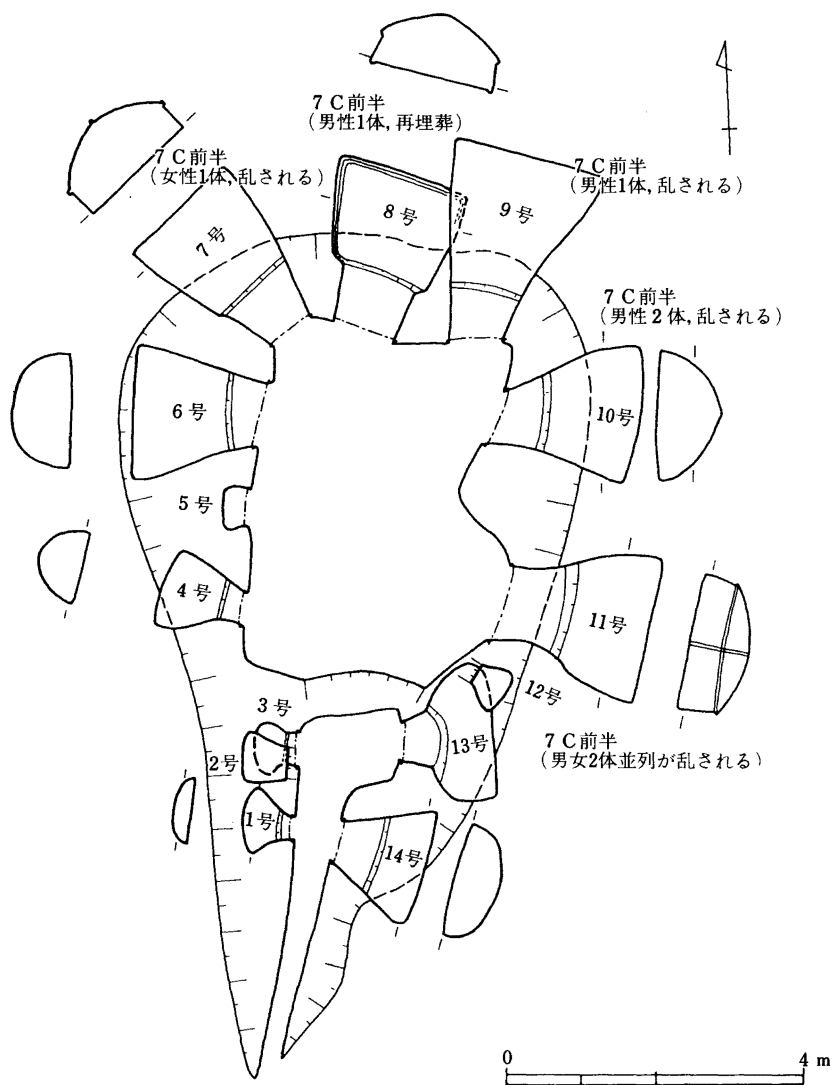
一主体複数埋葬例における初葬者は、その死が単体埋葬例と同じく古墳築造の契機となった人物と理解され、それ故に前半期における男女比が単体埋葬例とほぼ同様であると考えられる。したがって、後半期における比率の相違には何らかの理由があると思われるのである。

これには後期横穴墓のあり方が問題となろう。横穴墓の中でも五世紀後半から六世紀前半頃に築造される初期横穴墓については、大分県下毛郡三光村上ノ原横穴墓群や山口県山口市朝田墳墓群において、墓道や墳丘を共有したり隣

接する横穴墓が累代の家長の死を契機として築造されたことが明らかになりつつある（田中一九九〇・一九九一b）。第1図に例示した上ノ原横穴墓群の例は、幅一〇メートルほどの土地があらじめ区画され、その範囲内で時期的に連続する横穴墓が築造されている（大分県教委一九八九b）。ところが、六世紀後半～八世紀の横穴墓を中心とする福岡県行橋市竹並遺跡では、同一の墓道あるいは前庭部を共有してほぼ同時期の横穴墓がいくつも築造されている。この横穴墓群は人骨の保存がそれほど良好でなく、再埋葬や最終埋葬後に意図的に乱された形跡が認められる。すなわち、最終埋葬後に人骨の位置関係を意図的に乱したり、さらにそれらを別の横穴に改葬・集骨している可能性が強い。したがって、初期横穴



第1図 上ノ原横穴墓
(大分県教委, 1989b より一部改変)



第2図 竹並遺跡の横穴墓
(竹並調査会, 1979より、一部改変)

墓とはまた異なる葬送儀礼に基づく埋葬が行なわれた可能性を考慮すると、必ずしも報告された横穴墓ごとの人骨の性構成が実態を反映しているとはいえないかもしれないが、一応報告書に基づけば後半期の女性単体埋葬例のほとんどはこの竹並遺跡の事例なのである。第2図に示したのはその一例であるが、墓道を共有する複数の横穴墓がほぼ同時期に築造されており（竹並調査会一九七九）、第1図の上ノ原横穴墓群と異なるあり方を示している。上ノ原横穴墓群については地割りされた墓域内に連続して営まれる横穴墓群が家長の家系的連続を示すと考えているが（田中一九九二b）、竹並遺跡については、墓道を共有する横穴墓群全体が後の郷戸に相当する世帯共同体の成員であると考えられている（佐田一九八八）。この佐田の説を認めるにはさらなる検討を進める必要があると考えるが、少なくとも竹並遺跡における横穴墓の築造原理が、上ノ原横穴墓群のように埋葬にあたっての選択性が強いものではなく、成員の多くが埋葬されたものであった可能性は高いと考えられよう。したがって、埋葬における高い選択性を前提としたこの分析には不適合なデータであることから、竹並遺跡例を除外すると、後半期の男女比は単体埋葬では

男性二二例（七八・六％）

女性六例（二一・四％）

複数埋葬では

男性二〇例（八三・三％）

女性四例（一六・七％）

となり、両者の差は縮まることになる。

さて、表1にあげた古墳は、人骨の保存が良好な古墳が九州をはじめとした西日本に集中することや、筆者の資料収集の不十分さから地域的に偏っているが、これまで記してきた被葬者の変化のあり方に地域差は認められるであろうか。そこで、例数は少ないものの、東日本と近畿地方のみの男女比を次にみてみよう。まず、東日本においては、前半期の単体埋葬では

男性一例

女性二例

後半期では

男性四例 女性二例

であり、複数埋葬では前半期に事例はなく、後半期で

男性三例 女性三例

という比率を示す。近畿地方においては、複数埋葬の事例はないが、前半期の単体埋葬で

男性四例 女性九例

後半期では

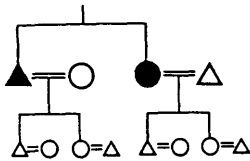
男性八例 女性一例

という比率になる。例数が増加すると、比率そのものは変わる可能性があることはもちろんであるが、前半期に女性の単体埋葬が少なからず存在し、後半期に男性単体埋葬が大勢を占めるというあり方は両地域に共通しており、全体の傾向とも矛盾するものではない。したがって、例数が増加するに伴い男女比や変化の形態に多少の地域差が認められることはあっても、基本的な傾向においては全国的に同様であるということではできら⁽³⁾だろう。

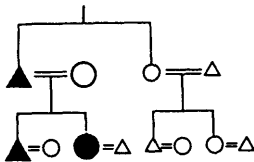
次に問題となるのが、表1の事例の大半が、小円墳や無墳丘の箱式石棺墓・横穴墓といった、古墳の中では比較的下位のランクに属するものに偏っていることである。しかし、これまで間壁（一九六二）や今井（一九八二）が指摘してきたように、例えば山形県戸塚山一三七号墳（帆立貝式古墳、六世紀初頭）、栃木県桑五七号墳（帆立貝式古墳、六世紀前半）、熊本県向野田古墳（前方後円墳、四世紀末―五世紀前半）、大分県築山古墳（前方後円墳、五世紀中葉）など、明らかに首長墳と考えられる古墳や小首長と考えてよい前方後円古墳・帆立貝式古墳・大円墳の被葬者に女性が含まれていて、中小古墳と基本的に変わらないあり方を示している。また、今井（一九八二）がその可能性を指摘し、松尾（一九八三）が副葬品の組成と比率から墳頂部多葬例を分析して得た、性格の異なる複数の首長（おそらくは男女）が

連立して統治したという結論は、造墓契機となった人物の男女比がほぼ等しい（六対四）という事実とも矛盾しない。ただ、これについては松尾と同様に副葬品と被葬者の性差を検討した川西宏幸・辻村純代が、矢鏃類が男性にのみ伴うことを指摘しつつ畿内の前期古墳では矢鏃類を欠く古墳が少なくことから、ヒメ・ヒコ制（男女共同統治）の存在に否定的見解を示し、首長層における男性優位を主張している（川西・辻村一九九二）。川西・辻村は今井や松尾の論に全く触れておらず、松尾が示した副葬品の構成比による性別との関連が不明瞭であり、全体としては現実に存在する女性首長や造墓契機の男女比の示すところとは矛盾する。しかし、前半期の畿内を中心とした地域の首長層においては他地域に比べて男性が優位であった可能性は残っており、今後の資料の増加に待つ他はない。したがって、階層によって男女比が異なったり、階層差の現れ方に地域性が存在した可能性はあり、今後の資料の増加に待つ他はないものの、ここでは地域差と同様基本的な傾向に階層差はなかったものと考えておきたい。

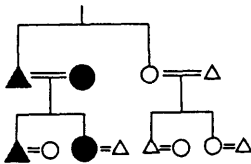
それでは、このような被葬者および初葬者における男性への傾斜は、これまで筆者が行ってきた親族関係分析の結果とどのように対応するのであろうか。以下に親族関係における変化の概要を示す。



1. 基本モデルⅠ



2. 基本モデルⅡ



3. 基本モデルⅢ

図3. 古墳時代親族関係の
基本モデル
(田中・土肥1989より
一部改変)

まず、基本モデルⅠは、キョウダイが埋葬されるもので、それぞれの配偶者は埋葬にあたっては排除されている（図3-1）。これらは、二世代で構成される事例の分析結果からみて、埋葬にあたっての選択基準は親との血縁関係であると考えられる。したがって、モデルの変異型は多く、兄弟、姉妹、兄弟+姉（妹）、姉妹+兄（弟）といった現実のキョウダイ構成を反映したものや、二世代、三世代で累代的に構成されるものなど変異に富む。しかし、実際には複数埋葬で最も多いのが男女のペアであることをみると、現実のキョウダイから男女を一人ずつ選択したことが多かったと考えられ、キョウダイが男女一方の性のみで構成される場合や他の事情による場合に、上記のような変異型が生じたと考えられる。また、数量的には複数埋葬よりも多い単体埋葬例は、複数の主体部の被葬者がキョウダイである場合も考慮されるが、明らかに一墳一葬の場合はキョウダイから一人だけに選択されたものと理解される。したがって、男女とも集団のリーダーとなりうる原理であり、双系的性格をもつといえよう。そして、時期的には弥生時代終末から五世紀代までみられる。

基本モデルⅡは、二世代構成が基本となる点で基本モデルⅠと大きく異なる。第一世代は成人男性で、この人物の死をもって墓が築造される。追葬されたのが二世代で、男性のみ、女性のみ、男女、子どもと、構成に変異が認められる。第一世代の成人男性が家長であったと考えられ、第二世代が家長の子のうち家長を継承しなかった子たちと考えられる。また、次世代家長は原則として追葬されず、新たに墓を築造してそこに葬られる。第二世代の女性には経産婦であった可能性が高い人物を含んでいるが、第一世代の家長を含めていずれの被葬者も配偶者を伴わない（図3-2）。この構成は父系の血縁者と評価されるが、今のところ横穴墓と箱式石棺の事例に限られ、五世紀後半に出現する。

基本モデルⅢも二世代構成を基本とする。第一世代は夫婦と推定される同世代の成人男女で、第二世代は基本モデルⅡと同じく変異がある。第一世代は家長夫婦と考えられ、第二世代は家長夫婦のうち家長を継承しなかった子たち

であつたと考えられる。やはり、次世代家長は原則として追葬されず、新たに墓を築造してそこに葬られる。第二世代の女性には経産婦の可能性が高い人物が含まれているが、第一世代と異なり、第二世代被葬者の配偶者は葬られていない。この構成は、家長夫婦とその子（血縁者）たちというものであり、はじめて配偶者が同じ墓に葬られるモデルである。今のところ横穴墓および横穴式石室墳に事例があり、六世紀前半～中葉以降にみられる（田中・土肥一九八九、田中一九九二b）。

このように、基本モデルⅠがキョウダイ原理による埋葬であるため、被葬者に男女ともみられるのに対して、五世紀後半以降の基本モデルⅡ・Ⅲは男性家長を中心とした埋葬であつた。小稿における結果は、五世紀後半以降に造墓契機となる被葬者が男性優位となるというもので、よく対応するものである。では、基本モデルⅢが出現する六世紀前半とそれ以降では変化があるのだろうか。

六世紀前半までとそれ以降で単体埋葬・複数埋葬それぞれの男女比を求めると、六世紀前半までの単体埋葬が

男性一三例（七六・五％）

女性四例（二三・五％）

六世紀中葉以降では

男性九例（八一・八％）

女性二例（二八・二％）

であり、六世紀前半までの複数埋葬が

男性一二例（八五・七％）

女性二例（二四・三％）

六世紀中葉以降では

男性八例（八〇％）

女性二例（二〇％）

となる。サンプル数は少ないものの、大きな変化はないといえよう。これは、基本モデルⅠからⅡへの変化が、前者の双系的性格から男性家長を中心とした父系的編成への変化という点で、より本質的なものであることを反映したも

のといえる。ただ、五世紀後半から六世紀前半までには四例あった女性単体埋葬が六世紀中葉以降には二例のみとなっており、過渡の様相も呈している。

以上のように、その死が古墳を築造するきっかけとなった人物は、親族関係の変化、すなわち双系的親族関係から父系的親族関係へと変化するにより、男女比が相半ば（六対四）していた前半期に対して、五世紀後半以降は次第に男性が大半を占めるようになっていったのである。

四、おわりに

小稿は、人骨の保存良好な事例で分析を行ってきた古墳時代親族構造研究との関連において、人骨出土古墳を集成し、被葬者の性別および複数埋葬における初葬者の性別を検討することにより、これまでの成果との対応を試みたものである。結果は上記のように、よく対応するものであった。しかし、紙数の関係もあって論じ足りないところ多々あり、同時にいくつかの検討課題を残すこともあった。今後の再論を期したい。また、表1の作成にあたって改めて感じたことは、発掘調査時における人骨の埋葬順位、埋葬状態等の観察とその記載の乏しさであった。発掘調査における人骨の考古学的調査の重要性をいまいちど確認する必要を痛感する次第である。

表1作成にあたって、井上繭子、岸本圭、石川健、岩尾峯希、大庭敏男の諸氏にお世話になった。また、文献収集にあたっては、奈良国立文化財研究所、横山浩一先生、岩永省三氏にお世話になった。末尾ながら記して感謝のしるしとしたい。

（小稿は平成四年度文部省科学研究費補助金（一般研究C課題番号〇四六一〇二四七）の成果の一部であることを明記する。）

(1) これについては春成秀爾の抜歯型式を出自表示と考えた研究（春成一九八七）に対する大林太良の指摘がある（大林一九八七）。

(2) 土井基司は福岡平野における群集墳の分析から六世紀後半以降に増加する群集墳の被葬者は共同体成員のほとんどであると推論している。人口推定などに再検討の余地もあるかもしれないが、検討に価する仮説といえよう（土井一九九二）。筆者も土地開発などによる「分家」が群集墳の爆発的増加の実態であると考え、一石室多数埋葬の事例が「本家」と「分家」が未分離のため生じたと考えたことがあるが（田中一九九二）、後期横穴墓の場合も未分離のまま墓道を共有して築造を行った結果、成員のほとんどが葬られるという事態になったと考えることもできよう。いずれにしても今後の検討課題であろう。

(3) 例えば畿内を遠く離れた東日本や九州（特に南九州）においては後半期にも女性単体埋葬や女性初葬が他地域よりも高率で行われていた可能性は考えられる。

(4) 仮に男性が優位であったとしても、畿内の前半期古墳には墳頂部多葬の事例や女性首長の事例も認められる。つまり、突出した一人の男性が葬られるのが原則ではなく、女性を含めた他の人物が墳頂部に葬られたり、突出した女性一人が葬られるような事態を許容する埋葬原理であったということになろう。このような原理は、父系直系の継承をシステム化した基本モデルⅡ以降とは大きく異なり、男性優位ではあっても父系であるというわけではない。やはり基本モデルⅠにおけるキョウダイから男性一人が選択されることがより多かったということになろう。

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
土師器坏片, 須恵器甕, 壺, 刀装具, 刀子, 鉄鏃	8 C ~ 9 C	1	男性単体	気仙沼市教委1976, 葉山1976
堅櫛, 刀子	6 C 初頭	1	女性単体	川崎1983
鏡, 管玉, ガラス玉類, 冠, 耳飾, 鼎, 刀, 戟, 短甲, 兜, 武具類, 鉄鏃, 鏡 板, 轡, 斧, 刀子他	6 C	1	男性単体	川西・辻村1991
鉄刀, 三輪玉, 鉄矛, 弓, 鉄鏃, 靱板, 馬具, 櫛, 木器, 矢, 革製品, 毛髪, 杏葉, 毛製の輪	6 C 中葉~後半	1	男性単体	大和久1974, 鈴木・尾本1974
鉄剣, 刀子, 砥石, 鏡, 玉, 耳飾り	6 C 前半	1	女性単体	小山市教育委員会1972
滑石小玉, 櫛, 短甲, 兜, 剣, 刀, 鉄 鏃, 斧	5 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
	4 C 後半	1	女性単体	今井1981
鏡, 鉄刀, 鉄剣, 刀子, 鉄斧, 鉄鎌, 車輪石, 貝輪, 勾玉, 管玉, 小玉	4 C 後半	1	女性単体	今井1981
なし	8 C 代	1	男性単体	東京都教育委員会1978
須恵器蓋, 椀, 甕, 土師器片, 鉄鏃, 火打ち鎌	8 C	1	男性単体	東京都教育委員会1978
なし	古墳時代	1	女性単体	東京都教育委員会1978
鏡, 筒形銅器, 車輪石, 石釧, ガラス 小玉, 管玉, ガラス勾玉, 剣, 刀, 鉄 鏃, 刀子, 鎌, 鋏, 斧, ヤリガンナ, ノミ	4 世紀	1	男性単体	内藤・大塚編1961, 鈴木1961
短甲, 蛇行剣, 刀, 刀子	5 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
耳環, ガラス小玉, 鉄鏃, 斧	5 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
鉄刀子, 鉄鏃 (棺内), 須恵器 (棺外)	5 世紀	1	男性単体	京都府教委1961
鏡, 鉄刀	古墳時代前期	1	女性単体	今井1981
玉類, 刀子, 鉄剣 (棺内), 鏡, 玉類 (棺 外 4 C 末~5 C 初)		1	女性単体	兵庫県教委1983
鉄剣 (棺内), 鉄鏃 (棺外)		1	男性単体	山東町教委1975
鏡, ガラス小玉, 銅鏃, 鉄鏃, 槍, 剣, 斧, 鎌, ノミ, ヤリガンナ, 鋸, 砥石	4 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
剣, 錐, ヤリガンナ	4 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
剣, 刀子 (棺内), 大刀, 槍, 甲冑, 鉄鏃, 工具類	5 C 後半	1	男性単体	奈良県教委1957, 島1957

表 1. 人骨出土古墳（1 墳丘 1 主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
塚沢横穴古墳群（6 号墳）	宮城県気仙沼市字塚沢	横穴墓		横穴墓
戸塚山137号古墳	山形県米沢市	帆立貝式古墳		石棺
三味塚古墳	茨城県行方郡玉造町	前方後円墳	90	組合式石棺
七廻り鏡塚古墳	栃木県下都賀郡大平町	円墳	28	木棺墓
桑57号墳	栃木県小山市	帆立貝式古墳	40	木棺墓
八幡山古墳	栃木県佐野市	円墳	46	竪穴式石室
元島名将軍塚	群馬県高崎市	前方後方墳	96	木棺
元島名将軍塚	群馬県高崎市	前方後方墳	96	竪穴式石室
山王 1 丁目横穴	東京都大田区	横穴墓		横穴墓
平山台 1 号横穴墓	東京都日野市	横穴墓		横穴墓
山王 4 丁目横穴	東京都大田区山王 4 丁目	横穴墓		横穴墓
三池平古墳	静岡県清水市	前方後円墳	70	竪穴式石室
円山 1 号墳	石川県羽咋市	円墳	21.5	竪穴式石室
神明森 1 号墳	石川県羽咋市	円墳	5-6	箱式石棺
網野岡第 3 号墳	京都府竹野郡網野町	不明		箱式石棺
得能山古墳	兵庫県神戸市	円墳		竪穴式石室
カチャ古墳	兵庫県豊岡市	円墳	19	箱式石棺
柿坪中山 3 号墳	兵庫県朝来郡山東町	方形台状墓		竪穴式石室
権現山51号墳	兵庫県揖保郡御津町	前方後方墳	43	竪穴式石室
横田山古墳	兵庫県氷上郡氷上町	なし		箱式石棺
塚山古墳	奈良県五条市	方墳	24	組合式石棺

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
なし (棺内), 土師器 (棺外)	7 C 前半～中頃	1	男性単体	林部1985
ガラス玉	5 C 末	1	女性単体	奈良県教委1975
	7 C 中頃	1	男性単体	奈良県教委1975
土師器, 須恵器 (棺内), 鉄刀子, 土師器, 須恵器 (棺外)	7 C 前半	1	男性単体	奈良県教委1975
硯, ガラス製品	7 C 中葉以前		男性単体	檀考研1977
金銅装銅製品	古墳時代後期	1	女性単体	檀考研1986
耳環, 須恵器	6 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
鉄刀, 櫛	5 C 後半	1	女性単体	鳥取県教育文化財団1983
鉄剣, 刀子, 櫛, 勾玉, 管玉, 丸玉, ガラス小玉	5 C 代	1	男性単体	倉吉市1983
土師器器台 (枕)	古墳時代前期	1	男性単体	九大解 2 1988
	古墳時代前～中期	1	女性単体	九大解 2 1988
剣 1	古墳時代前～中期	1	女性単体	川西・辻村1991
不明	古墳時代前期～中期	1	女性単体	九大解 2 1988
		1	男性単体	九大解 2 1988
不明	古墳時代前期～中期	1	男性単体	島根県教委1972, 九大解 2 1988
なし		1	女性単体	島根県教委1972
須恵器	7 C	1	女性単体	斐川町1983
	古墳時代	1	男性単体	九大解 2 1988
	古墳時代	1	男性単体	九大解 2 1988
鏡, 管玉, 刀子	4 世紀	1	女性単体	川西・辻村1991
貝輪	4 世紀	1	女性単体	川西・辻村1991
鏡, 勾玉, 刀子, 鎌, 斧	4 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
	古墳時代前期	1	女性単体	今井1981
なし	5 C 後半～6 C	1	男性単体	岡山県教委1981, 川中1982b

表1. 人骨出土古墳（1墳丘1主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
粟原深谷1号墳	奈良県桜井市	不明		横穴式石室
丹切6号墳	奈良県宇陀郡榛原町	円墳	12	箱式石棺
丹切31号墳	奈良県宇陀郡榛原町	なし		横穴式石室・箱式石棺
丹切33号墳	奈良県宇陀郡榛原町			箱式石棺
御坊山3号墳	奈良県生駒郡斑鳩町	円墳	8	横口式石槨・陶棺
南山11号墳	奈良県			横穴式石室・箱式石棺
能登谷1号墳	奈良県桜井市	なし		組合式石棺
長瀬高浜1号墳	鳥取県東伯郡羽合町	円墳	28	箱式石棺
屋喜山9号墳	鳥取県倉吉市	円墳		箱式石棺
曲石棺	鳥取県西伯郡北条町	不明		箱式石棺
焼津平石棺	鳥取県倉吉市	不明		箱式石棺
下種8号墳	鳥取県東伯郡大栄町	帆立貝式古墳	32	箱式石棺
中小田古墳	島根県？	不明		箱式石棺
小丸山古墳	島根県安来市			
東光台古墳	島根県松江市			箱式石棺
浅柄古墳	島根県出雲市			箱式石棺
平野7号横穴墓	島根県簸川郡斐川町	なし		横穴墓
古浦52号墓	島根県八束郡鹿島町	なし		土壙墓
古浦62号墓	島根県八束郡鹿島町	なし		土壙墓
前の原石棺群7号	香川県観音寺市	なし		箱式石棺
前の原石棺群8号	香川県観音寺市	なし		箱式石棺
節匂山古墳	徳島県徳島市	円墳	7.5×9	縦穴式石室
安ヶ礼古墳	岡山県赤磐郡山陽町	円墳		箱式石棺
赤羽根古墳6号主体	岡山県高梁市	不明		箱式石棺

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
鉄器片	5 C 後半～6 C	1	男性単体	岡山県教委1981, 川中1982b
櫛		1	男性単体	間壁1968
なし	5 C	1	女性単体	間壁1968
刀, 鎌, 斧, 鍬	古墳時代前期～中期	1	男性単体	川西・辻村1991
鏡, 刀, 剣, 銅鏃, 鉄鏃, 斧, ヤリガンナ	4 世紀	1	男性単体	川西・辻村1991
鏡, 勾玉, 管玉, 石釧	4 世紀	1	女性単体	川西・辻村1991
ガラス小玉	古墳時代前期～中期	1	女性単体	鈴木・池田1951
なし	古墳時期前期～中期	1	女性単体	九大解 2 1988
なし	古墳時期前期～中期	1	女性単体	九大解 2 1988
なし	古墳時期前期～中期	1	女性単体	九大解 2 1988
不明	古墳時代前期	1	女性単体	九大解 2 1988
鏡, 剣, 刀子, 斧, 鎌	古墳時代中期	1	女性単体	九大解 2 1988
剣	古墳時代初頭	1	男性単体	九大解 2 1988
小玉, 鉄針	古墳時代初頭	1	女性単体	九大解 2 1988
管玉		1	女性単体	九大解 2 1988
剣, 刀, 金環	古墳時代前期～中期	1	男性単体	洲上・佐野1958
不明	古墳時代前期～中期	1	男性単体	九大解 2 1988
なし	古墳時代前期	1	男性単体	山口県教委1977, 永井1977
ヤリガンナ, 滑石製勾玉	古墳時代前期	1	男性単体	山口県教委1977, 永井1977
鉄剣	古墳時代初頭	1	男性単体	九大解 2 1988
鉄鏃	古墳時代前期～中期	1	男性単体	九大解 2 1988

表1. 人骨出土古墳（1墳丘1主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
赤羽根古墳8号主体	岡山県高梁市	不明		箱式石棺
芋岡山1号石棺	岡山県小田郡矢掛町	なし		箱式石棺
広浜箱式石棺	岡山県笠岡市	なし		箱式石棺
弓場山古墳	岡山県笠岡市	円墳	10	箱式石棺
佐古山古墳	岡山県岡山市	円墳	10	竪穴式石室
仙人塚1号墳	広島県東広島市	円墳	22	箱式石棺
龍王山古墳	広島県世羅郡甲山町	不明		箱式石棺
武久浜1号石棺	山口県下関市	なし		箱式石棺
武久浜2号石棺	山口県下関市	なし		箱式石棺
武久浜4号石棺	山口県下関市	なし		箱式石棺
荒神山石棺	山口県下松市	なし		箱式石棺
カブト山古墳	山口県山口市	円墳	20	箱式石棺
勝井（Ⅰ）7号石棺	山口県山口市	不明		箱式石棺
勝井（Ⅰ）10号石棺	山口県山口市			箱式石棺
富田古墳	山口県南陽市	不明		不明
山根古墳	山口県下松市	円墳		箱式石棺
縣山石棺	山口県光市	なし		箱式石棺
朝田Ⅲ-6号墳	山口県山口市	円墳	6.2	箱式石棺
朝田Ⅲ-15号墳	山口県山口市	方墳	9.1×4	箱式石棺
勝井遺跡（Ⅰ）区7号石棺	山口県山口市	なし		箱式石棺
萩峠1号石棺	山口県山口市	なし		箱式石棺

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
剣, ヤリガンナ, 玉類	古墳時代前期 (4 C 代)	1	男性単体	山口県教委1981, 永井 1981b
鏡, 勾玉 (棺内), 鉄剣, 鉄刀子, 鉄斧, 鉄鎌 (棺外)	4 C 代	1	男性単体	島 1966, 徳島県教委 1966
刀子	古墳時代前期	1	女性単体	九大解 2 1988
なし	5 C 前半?	1	女性単体	福岡県教委1986, 永井 1986
ガラス小玉, 鋤先	5 C 前半	1	女性単体	福岡県教委1986, 永井 1986
鉄剣, 刀子, 櫛	5 C 前葉	1	男性単体	福岡県教委1984, 永井 1986
刀子	5 C 前葉	1	男性単体	福岡県教委1984, 永井 1986
刀子, 不明鉄片, 須恵器, 土師器 (周 溝内)	5 C 前半	1	男性単体	福岡県教委1986, 永井 1986
鉄鍬, 刀子	5 C 前半	1	男性単体	福岡県教委1986, 永井 1986
鉄鍬	5 C 前半～中葉	1	男性単体	甘木市教委1983
陶質土器, 刀子, 管玉, 針	5 C 前半～中葉	1	女性単体	甘木市教委1982b
なし	5 C 前半～中葉	1	女性単体	甘木市教委1982b
陶質土器 (棺外)	5 C 前半	1	男性単体	甘木市教委1979
刀子	古墳時代前期	1	男性単体	福岡県教委1979, 永井 1979
不明		1	女性単体	九大解 2 1988
なし	古墳時代前期	1	女性単体	九大解 2 1988
刀子	4 C 後半～末	1	女性単体	筑紫野市教委1982
なし	5 C 代?	1	女性単体	竹重他1968, 福岡県立 朝倉高等学校史学部 1969
不明	古墳時代前期	1	女性単体	九大解 2 1988
勾玉, 管玉, 銅環, 剣, 鉄輪, 鏡, 琴 柱形石製品, 白玉, 鉄刀, 藤手刀子 (石 室内), 勾玉, ガラス小玉 (石室外)	5 C 前半	1	女性単体	志免町教委1974
なし	5 C 前半	1	女性単体	八女市教委1983, 永井 1983

表1. 人骨出土古墳(1墳丘1主体単体埋葬)

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
神田山石棺	山口県山口市	円墳		箱式石棺
節匂山2号墳	徳島県徳島市	円墳	7.5	箱式石棺
反崎石棺	福岡県嘉穂郡稲築町	なし		箱式石棺
柿原Ⅰ・C-32	福岡県甘木市	不明		竪穴式石室
柿原Ⅰ・C-51	福岡県甘木市	不明		石棺系竪穴式石室
柿原G・C-1	福岡県甘木市	円形周溝墓?	8	竪穴式石室
柿原G・C-2	福岡県甘木市	不明		竪穴式石室
柿原Ⅰ・C-4	福岡県甘木市	円墳	9	竪穴式石室
柿原Ⅰ・C-52	福岡県甘木市	円墳	3.5-4.5	竪穴式石室
古寺7号墓	福岡県甘木市	なし		土壙墓
古寺10号土壙墓	福岡県甘木市	なし		土壙墓
古寺8号土壙墓	福岡県甘木市	なし		土壙墓
池の上5号墳	福岡県甘木市	円墳	8	土壙墓
祇園山2号墳南棺	福岡県久留米市	なし		箱式石棺
寺ヶ堂古墳	福岡県京都郡勝山町	不明		不明
長井浜石棺	福岡県行橋市	なし		箱式石棺
阿志岐1号石棺	福岡県筑紫野市	なし		箱式石棺
妙見26号墳	福岡県朝倉郡朝倉町	不明		小竪穴式石室
長畑2号墳	福岡県田川郡香春町	なし		箱式石棺
七夕池古墳	福岡県粕屋郡志免町	円墳	29	竪穴式石室
立山山36号墳	福岡県八女市	円墳	11	箱式石棺

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
鋤先	古墳時代前期～ 中期	1	女性単体	九大解 2 1988
剣, 刀子, ネジリ棒状鉄器, 鉄鎌, 鋤 先, 鉄斧, ヤリガンナ状鉄器	5 C 前半	1	男性単体	佐野・亀井1969
なし	古墳時代前期	1	男性単体	春日市教委1981, 永井 1981d
短甲, 刀, 鋤先, 鉄鎌	古 墳 時 代 中 期 (5 C 代)	1	男性単体	柴田・渡辺1962
なし	古墳時代前期	1	女性単体	九大解 2 1988
なし	古墳時代前期	1	男性単体	九大解1988
鏡, 鉄鎌, 鉄剣, 鉄釧, 刀子, 玉類 (棺 内), 須恵器, 土師器 (周溝内)	5 C 後半	1	男性単体	八女市1983, 永井1983
鏡, 鉄鎌, 鉄剣, 刀子 (棺内), 須恵器, 土師器 (周溝内)	5 C 中頃	1	男性単体	八女市1983, 永井1983
不明	古墳時代前期?	1	男性単体	九大解 2 1988
鉄剣	古墳時代前期～ 中期	1	男性単体	春日町教委1969, 永井 1969
須恵器, 土師器	古墳時代中期	1	男性単体	九大解 2 1988
剣, 石突, 鋤先, 刀子, 櫛	5 C 前半	1	男性単体	飯塚市1990
なし	古墳時代前期	1	女性単体	児島・藤田編1973
なし	5 C 後半	1	男性単体?	竹並遺跡調査会1979
丸玉, 切子玉	7 C 前半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 前半	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
須恵器, 土師器	7 C 後半	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
土師器	6 C 末～7 C 前 半	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
須恵器	7 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988

表 1. 人骨出土古墳（1 墳丘 1 主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
吉田辻石棺	福岡県八女市	なし		箱式石棺
西の浦古墳	福岡県鞍手郡若宮町	円墳	8-9	箱式石棺
西平塚 2 号墳	福岡県春日市	方形周溝墓	9.5×8.4	木棺墓
花聳 1 号墳	福岡県小都市	不明		竪穴式石室
仏胸岡 2 号石棺	福岡県田川郡糸田町	なし		箱式石棺
仏胸岡 1 号石棺	福岡市田川郡糸田町	なし		箱式石棺
立山山24号	福岡県八女市	円墳	17.7	箱式石棺
立山山25号	福岡県八女市	円墳	21	竪穴系横口式石室
岩屋石棺	福岡県北九州市	なし		箱式石棺
一の谷	福岡県春日市	なし		箱式石棺
野田15号墳	福岡県筑紫野市	不明		不明
川津 1 号墳	福岡県飯塚市	円墳	26	箱式石棺
忠隈 2 号墳	福岡県嘉穂郡穂波町	なし		箱式石棺
竹並 A-9	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-39-2 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-41-3 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-51-7 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-56-2	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-56-4 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-62-4 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-63-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
土師器	7 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
鉄鍬, 刀子, 須恵器	6 C 須恵	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
刀子, 須恵器, 土師器	6 C 末	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 前半	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
直刀, 刀子, 須恵器	7 C 前半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	古墳時代後期	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
鉄鍬, 鉄斧, 滑石製品, 土師器	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 後半	1	女性単体 ?	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	女性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 後半	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
後刀, 鋤先	5 C 後半	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
須恵器	6 C 末	1	女性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
鐔	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
耳環	6 C 末	1	女性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 前半	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988

表 1. 人骨出土古墳（1 墳丘 1 主体单体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
竹並 A-67-5	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-1-7 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-6-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-41-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-53-3	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-57-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-70-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-95-5 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-97-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-99号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-103号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 G-115-2 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 H-7-1 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 H-36-9 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 H-41号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 H-45-6 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 F-6-2 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 H-50-3 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並 A-51-9 号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
土師器	7 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
鉄鍬, 刀子, 須恵器	6 C 須恵	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
刀子, 須恵器, 土師器	6 C 末	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 前半	1	女性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
直刀, 刀子, 須恵器	7 C 前半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 後半	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
なし	古墳時代後期	1	男性単体	竹並遺跡調査会1979, 九大解 2 1988
鉄鍬, 鉄斧, 滑石製品, 土師器	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 後半	1	女性単体 ?	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	6 C 末	1	女性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 後半	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
後刀, 鋤先	5 C 後半	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
須恵器	6 C 末	1	女性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
鐙	6 C 末	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
耳環	6 C 末	1	女性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988
なし	7 C 前半	1	男性単体	竹並調査会1979, 九大解 2 1988

表1. 人骨出土古墳(1墳丘1主体単体埋葬)

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
竹並A-67-5	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-1-7号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-6-1号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-41-1号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-53-3	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-57-1号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-70-1号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-95-5号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-97-1号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-99号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-103号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並G-115-2号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並H-7-1号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並H-36-9号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並H-41号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並H-45-6号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並F-6-2号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並H-50-3号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓
竹並A-51-9号横穴	福岡県行橋市	なし		横穴墓

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
鏡, 管玉, 小玉, 鉄刀		1	男性単体	
	5 C 代	1	男性単体	大牟田市教委1970, 永井1970
	弥生終末～古墳時代前期	1	女性単体	鏡山1955, 九大解2 1988
	弥生終末～古墳前期	1	男性単体	鏡山1955, 九大解2 1988
	弥生終末～古墳前期	1	男性単体	鏡山1955, 九大解2 1988
鉄鎌	古墳時代前期	1	男性単体	福岡市教委1981・1982, 永井1981a
玉類, 鉄釧	古墳時代前期～中期	1	男性単体	高橋・伊藤1955
なし	古墳時代前期	1	男性単体	北九州埋文1986, 田頭・山中1986, 土肥他1986b, 土肥他1986c
珠文鏡, 刀, 剣, 鉄鏃, 鉄斧, 鎌, 鋤先, 針	古墳時代前期	1	男性単体	原口1979
短甲, 剣, ヤリガンナ	5C 前半	1	男性単体	蔵内古文化研究所1964・1965
管玉, 剣, 鉄鏃, 刀子	古墳時代前期	1	男性単体	高橋・伊藤1955
玉類, イモ貝製貝輪	古墳時代後期	1	男性単体	福岡県教委1963, 永井1963
なし	古墳時期前期	1	男性単体	福岡県教委1971
馬具	古墳時期前期	1	男性単体	九大解2 1988
なし	古墳時期中期	1	女性単体	栗崎山調査団1973, 永井1973
刀, 鉄鏃, 斧, 須恵器	5 C 中頃	1	男性単体	児島・渡辺編1961, 佐野1961
剣	古墳時代前期	1	男性単体	九大解2 1988
不明	古墳時代前期	1	女性単体	九大解2 1988
なし	古墳時代前期～中期	1	女性単体	松尾1952, 九大解2 1988
なし	古墳時代中期	1	女性単体	九州大学考古額研究室1965
なし	古墳時代前期～中期	1	男性単体	松尾1952, 九大解2 1988

表1. 人骨出土古墳（1墳丘1主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
位登古墳	福岡県田川市	前方後円墳	51	箱式石棺
荒田比石棺	福岡県大牟田市	なし		箱式石棺
ビワノクマ1号石棺	福岡県行橋市	なし		箱式石棺
ビワノクマ2号石棺	福岡県行橋市	なし		箱式石棺
ビワノクマ3号石棺	福岡県行橋市	なし		箱式石棺
藤崎遺跡Ⅰ-4号	福岡県福岡市	方形周溝墓	8	箱式石棺
節丸大塚	福岡県行橋市	円墳		竪穴式石室
郷屋C-3号墳	福岡県北九州市	円墳	16	箱式石棺
柱松（惣社）古墳	福岡県嘉穂郡稲築町	円墳		箱式石棺
石並15号墳	福岡県行橋市	円墳		箱式石棺
上柴山古墳	福岡県京都郡犀川町	円墳		箱式石棺
神崎1号墳	福岡県鞍手郡鞍手町	円墳	10	横穴式石室
裏の谷1号石棺	福岡県嘉穂郡穂波町	なし		箱式石棺
河東古墳	福岡県宗像市	円墳		竪穴式石室
栗崎山3号墳	福岡県飯塚市	円墳		箱式石棺
経塚古墳	福岡県嘉穂郡田町	円墳		箱式石棺
珍敷塚石棺	福岡県浮羽郡吉井町	不明		箱式石棺
妻山石棺	佐賀県杵臼郡白石町	なし		箱式石棺
稲佐神社グラウンド遺跡Ⅳ号石棺	佐賀県杵臼郡有明町	なし		箱式石棺
おつば山石棺	佐賀県武雄市	なし		箱式石棺
稲佐神社グラウンド遺跡Ⅵ号石棺	佐賀県杵臼郡有明町	なし		箱式石棺

副 葬 品	時 期	被葬者数	被 葬 者	文 献
鏡 (3), 玉類 (勾玉4, 管玉82, 小玉94), 釧 (車輪石1), 貝輪 (約) 20, 刀剣 (長剣1, 短剣3, 刀4), 刀子 (78), 工具 (鉄斧3), 農具 (鉄鎌1)	古墳前期 (4世紀末～5世紀前半)	1	女性単体	宇土市教委1978, 北条1978
	古墳時代中期	1	女性単体	三島他1979
刀, 剣, 鏡, 古墳時代前期		1	男性単体	江本他1978
剣, 刀子	古墳時代中期	1	男性単体	菊水町教委1983
ガラス小玉		1	男性単体	山鹿市1989
刀子	5 C	1	男性単体	北条他1980
滑石製勾玉, 管玉, 小玉, 剣, 刀子, 貝輪	5 C	1	男性単体	川西・辻村1991
不明	古墳時代前期～中期?	1	女性単体	九大解2 1988
なし	古墳時代前期	1	女性単体	日田市教委1987, 土肥他1987
なし	古墳時代前期	1	男性単体	日田市教委1987, 土肥他1987
なし	古墳時代前期	1	男性単体	九大解2 1988
不明	古墳時代前期	1	男性単体	大分県教委 1985・1986・1989a, 土肥1989
剣, 鉄族	古墳時代前期	1	男性単体	大分県教委 1985・1986・1989a, 土肥1989
なし	古墳時代前期	1	男性単体	九大解2 1988
なし	古墳時代前期	1	男性単体	九大解2 1988
	5 C 後半	1	男性単体	大分県教委1989b
	5 C 後半	1	男性単体	大分県教委1989b
	5 C 後半	1	男性単体	大分県教委1989b
	5 C 後半	1	男性単体	大分県教委1989b

表1. 人骨出土古墳（1墳丘1主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	内 部 主 体
向野田古墳	熊本県宇土市松山町	前方後円墳	89	竪穴式石室
狐塚2号墳	熊本県荒尾市	円墳		家形石棺
番出1号石棺	熊本県阿蘇郡一の宮町	なし		箱式石棺
北赤穂原石棺	熊本県玉名郡菊水町	なし		組合式石棺
舞野1号石棺	熊本県山鹿市	なし		箱式石棺
南山内2号石棺	熊本県宇土市			箱式石棺
久保遺跡1号石棺	熊本県上益城郡御船町	なし		箱式石棺
塔の尾1号	大分県	不明		箱式石棺？
吹上1号石棺	大分県日田市	なし		箱式石棺
吹上2号石棺	大分県日田市	なし		箱式石棺
岡崎石棺	大分県下毛郡三光村	なし		箱式石棺
草場第2遺跡1号墓	大分県日田市	なし		箱式石棺
草場第2遺跡35号墓	大分県日田市	方形周溝墓		墓式石棺
後ノ迫2号石棺	大分県日田市	なし		箱式石棺
後ノ迫3号石棺	大分県日田市	なし		箱式石棺
上ノ原5号横穴	大分県下毛郡三光村	横穴墓		横穴墓
上ノ原48号横穴	大分県下毛郡三光村	横穴墓		横穴墓
上ノ原50号横穴	大分県下毛郡三光村	横穴墓		横穴墓
上ノ原52号横穴	大分県下毛郡三光村	横穴墓		横穴墓

副 葬 品	時 期	被葬者数	被葬者	構 成	文 献
刀		1	女性	女性単体	川西・辻村1991
鏡, 剣, 玉類, 斧	5 C 前半	1	女性	女性単体	大宮町教委1977
刀子	古墳時代前～中期	1	女性	女性単体	山東町教委1975
	古墳時代前～中期	1	男性	男性単体	
直刀, ヤリガンナ	4 C 中頃～後半	1	女性	女性単体	和田山町教委1978
鏡, 剣, 刀, 槍, 銅鏃, 鉄鏃, 刀子, 鎌, リガンナ, 斧, ノミ, 錐	4 世紀	1	男性	男性単体	川西・辻村1991
鉄鏃, 鎌, 須恵器	6 世紀	1	男性	男性単体	川西・辻村1991
	5 C 末	1	男性	男性単体	橿考研1976
鏡, 短甲, 櫛, 剣, 鉄鏃, 刀子, ヤリガンナ	4 世紀	1	男性	男性単体	
鏡, 勾玉, 管玉, 刀	4 世紀	1	女性	女性単体	川西・辻村1991
短甲, 剣, 刀子, 斧	古墳時代前～中期	1	男性	男性単体	九大解2 1988
		1	不明	不明単体	
		1	女性	女性単体	
		1	男性	男性単体	
	古墳時代前～中期?	1	男性?	男性単体	間壁1968
	古墳時代前～中期?	1	男性	男性単体	
鏡, 算盤玉, 小玉, ヤリガンナ, 刀子	弥生終末～古墳時代初頭			男性単体	岡山県教委1982a
剣, 鎌, 鉄鏃		1	男性	男性単体	
滑石勾玉, 滑石管玉, ガラス小玉, 滑石小玉	5 世紀	1	女性	女性単体	川西・辻村1991
勾玉, 琥珀玉類, 銅釧, 櫛, 刀, 刀子	5 世紀	1	男性	男性単体	池田1954, 松崎他1954
鏡, 勾玉, 管玉, 鉄鏃, 刀子, ヤリガンナ	4 世紀	1	男性	男性単体	広島県教委1981, 池田1981
鏡, 刀子, ヤリガンナ	4 世紀	1	男性	男性単体	広島県教委1981, 池田1981

表 1. 人骨出土古墳 (1 墳丘複数主体単体埋葬)

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主体部	内部主体
甲山古墳	茨城県つくば市	円墳	30	1 号石棺	箱式石棺
大谷古墳	京都府大宮町	帆立貝式前方 後円墳	32		箱式石棺
柿坪中山 2 号墳	兵庫県朝来郡山東町	円墳		第 1 主体	竪穴式石室
				第 2 主体	
秋葉山 2 号墳	兵庫県朝来郡和田山 町	円墳			箱式石棺
天坊山古墳	兵庫県加古川市	円墳	16	第 1 主体	竪穴式石室
石光山13号墳	奈良県御所市	円墳	13	第 2 主体	横穴式石室
石光山22号墳	奈良県御所市	円墳	12		箱式石棺
郡家 1 号墳	鳥取県鳥取市	前方後円墳	90	3 号棺	箱式石棺
馬山 4 号墳	鳥取県東伯郡羽合町	前方後円墳	110	2 号棺	箱式石棺
中山 1 号墳	鳥根県邑知郡石見町	前方後方墳	22.3	第 1 主体	箱式石棺
				5 号石棺	箱式石棺
				7 号石棺	箱式石棺
				12号石棺	箱式石棺
茂原八幡境内箱式石棺	岡山県笠原市			1 号棺	箱式石棺
				2 号棺	箱式石棺
殿山 9 号墳	岡山県総社市	方墳	13	第 1 主体部	木棺墓
				第 2 主体部	箱式石棺
久代長砂10号墳	岡山県総社市	円墳	10	1 号石棺	箱式石棺
三ツ城古墳	広島県東広島市	前方後円墳	84	第 2 主体部	箱式石棺
石槌山 1 号墳	広島県福山市	円墳	20	第 1 主体	竪穴式石室
石槌山 2 号墳	広島県福山市	円墳	16	第 1 主体	木棺直葬

副 葬 品	時 期	被葬者数	被葬者	構 成	文 献
鏡, 玉類, 櫛, 針	5 C 前半	1	女性	女性単体	引津1928, 九大解 2 1988
鏡, 兜, 短甲, 刀剣		1	男性	男性単体	
鏡, 勾玉, ガラス小玉, 滑石製白 玉, 櫛, 鉄刀, 鉄鎌, 鉄斧, 鉄刀 子	5 C 前半	1	女性	女性単体	島1966, 徳島県教 委1966
琴柱形石製品, 管玉, 櫛, 鉄刀子, 鉄剣 (棺内), 短甲, 衝角付冑, 肩甲, 頸甲, 鉄刀, 鉄剣, 鉄鎌, 鉄斧, 鉄鎌 (副室内)		1	男性	男性単体	川西・辻村1991
鏡, 剣, 鉄鎌	4 世紀	1	女性	女性単体	
鏡, 管玉, 剣, 刀子, 斧		1	女性	女性単体	川西・辻村1991
斧, ヤリガンナ	4 世紀	1			甘木市教委1979
なし	4 C 代				
なし			男性	男性単体	
鉄刀, 刀子		1	男性	男性単体	
鎌, 刀子, ヤリガンナ, 鋸		1	男性	男性単体	
なし					
不明	5 C 代				津屋崎町教委 1991, 土肥・中橋 1991
大刀, 剣, 矛, 刀子, 鉄鎌, 刀, 長剣, 斧, 鎌, 薙崎, 短甲		1	男性	男性単体	
管玉, 鉄鎌, 鎌, 矛, 短刀		1	男性	男性単体	
なし	5 C 代	1	男性	男性単体	太宰府町教委 1980, 永井1981c
ガラス玉					
ヤリガンナ, ガラス玉	4 C 後半	1	女性	女性単体	福岡県教委1977
鏡, 管玉, 剣, 刀子, 鎌, ヤリガ ンナ	4 世紀	1	男性	男性単体	
鏡, 勾玉, 管玉, 小玉, 石釧, 鉄 剣 (棺内), 鉄剣, 鉄刀, 鉄斧, 鉄鎌 (棺外)	5 C 後半				梅原 1953, 亀井 1982, 佐野1967, 永井1982b
鏡, 鉄刀?					
鉄剣, 管玉		1	男性	男性単体	

表 1. 人骨出土古墳（1 墳丘複数主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主体部	内部主体
赤妻古墳	山口県山口市	円墳			舟形石棺
恵解山 2 号墳	徳島県徳島市	円墳	25	東棺	箱式石棺
				西棺	箱式石棺
快天山古墳	香川県綾歌郡綾歌町	前方後円墳	100	3 号棺	割竹形石棺
				2 号棺	割竹形石棺
雨滝山奥 3 号墳	香川県大川郡	前方後円墳	37	2 号棺	箱式石棺
池の上 1 号墳	福岡県甘木市	方形周溝墓	12.5	1 号主体部	割竹形木棺
				2 号主体部	土壙墓
				3 号主体部	箱式石棺
				4 号主体部	土壙墓
				5 号主体部	箱式石棺
井手ノ上古墳	福岡県宗像郡津屋崎町	円墳	26	1 号主体	竪穴式石室
				2 号主体	箱式石棺
				3 号主体	土壙墓
宮ノ本 1 号墳	福岡県太宰府市	方墳	12	第 1 主体	箱式石棺
				第 2 主体	箱式石棺
唐人塚 2 号墳	福岡県筑紫野市	隈丸方形墳	7	1 号石棺	箱式石棺
潜塚古墳	福岡県大牟田市	円墳	25	1 号館	竪穴式石室
谷口古墳	佐賀県東松浦郡浜玉町	前方後円墳		後円部東石室	竪穴式石室、舟形石棺
				後円部西石室	竪穴式石室、舟形石棺
				前方部石棺	舟形石棺

： 副 葬 品	： 時 期	： 被葬者数	： 被葬者	： 構 成	： 文 献
鏡, 刀子		1	女性	女性单体	高木1981
鏡, 管玉, 小玉, 勾玉, 丸玉, 直 刀, 鉄鏃, 刀子, 斧		1	女性	女性单体	
勾玉, 管玉, 石釧, ガラス玉, 鏡, 刀, 劍, 槍, 鎌, 鏃先, 斧, 刀子	4 C 後半				宇佐歴民1986
勾玉, 管玉, 石釧, 鏡		1	女性	女性单体	

表 1. 人骨出土古墳（1 墳丘複数主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主体部	内部主体
高城山 3 号墳	熊本県熊本市	円墳	15	舟形石棺 箱式石棺	舟形石棺 箱式石棺
長目塚古墳	熊本県阿蘇郡一の宮町	前方後円墳	111	後円部主体 前方部主体	縦穴式石室
免ヶ平古墳	大分県宇佐市	前方後円墳	51	後円部北主体 後円部南主体	縦穴式石室 箱式石棺

： 副 葬 品	： 主体外部：出土遺物	： 時 期	： 被葬者数	： 被葬者	： 構 成	： 文 献
須恵器	なし	7 C 中葉	2	男性 1, 女性 1	女性初葬 複数	所沢市教委1978, 埴原地1978
なし	なし	7 C ～ 8 C	5	男性 2, 女性 1, 小児 1, 胎児 1	女性初葬 複数	千葉県教委1978, 森本・高橋1978
直刀, 刀子, 鉄鏃, 青銅 製耳環	なし	6 C 後半～ 7 C 前半	2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	青 学 大 1983, 森 本・小片1983
なし	なし	古墳時代	2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	東京都教委1978, 山口他1978
勾玉, 管玉, 小玉, 鏡, 石釧, 貝釧, 鏡, いも貝, ヤリガンナ, 櫛, 剣, 朱, 斧頭 (棺内)			2	男性 1, 女性 1	女性初葬 複数	
櫛, 直刀, 鉄鏃, 刀子, 鹿角製装具 (棺内), 剣, 直刀, 鉾, 斧頭, 鏃			2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	
鏡, 馬具, 耳飾, 銅帶, その他金銅製品多数		6 C 後半	2	男性 2	男性初葬 複数	
		古墳時代前 期?	4	男性 2, 時代 2	男性初葬 複数	九大解 2 1988
刀子, 須恵器		6 C 後半	3	男性 3	男性初葬 複数	仁多町教委1984
刀子, 小玉, 須恵器		6 C 後半	3	男性 1, 女性 1, 小児 1	男性初葬 複数	島根県教委1984
刀子, 鉄鏃		5 C	2	男性 2	男性初葬 複数	間壁1968
なし		5 C 後半～ 6 C 前半	2	男性 1, 女性 1	女性初葬 複数	岡山県教委1982, 川中1982a
不明		古墳時代中 期	3	女性 2, 性別不 明 1	女性初葬 複数	九大解 2 1988
ガラス製小玉, 白玉, 管 玉, 切小玉, 平玉, 金環, 留金具, 斧, 鏃, 須恵器, 土師器		6 C 中葉	3	男性, 女性, 性 別不明	男性初葬 複数	山口埋文1982, 松 下1982
管玉, 丸玉, 刀子, 鏃, 須恵器		6 C 前半～ 中葉	4	男性 2, 女性 2	男性初葬 複数	山口埋文1982, 松 下1982
なし		古墳時代前 期	2	女性 2	女性初葬 複数	山口市教委1978, 橋口・永井1978
剣, 刀, 鉄鏃, 鉄斧, 刀 子		5 C 前半	2	男性, 女性	女性初葬 複数	福岡町教委1981

表1. 人骨出土古墳（1墳丘1主体複数埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主 体 部	内 部 主 体
滝之城横穴（4号横穴墓）	埼玉県所沢市柳瀬	なし			横穴墓
中尾横穴	千葉県木更津市中尾	なし			横穴墓
森台古墳群第19号墳	千葉県山武郡山武町	円墳	18		箱式石棺
大田区仲池上1丁目横穴（2号横穴墓）	東京都大田区仲池上1丁目	なし			横穴墓
龍ヶ岡古墳	福井県福井市	前方後円墳？			家形石棺
宝石山1号墳	福井県福井市	円墳	20		舟形石棺
藤ノ木古墳	奈良県生駒郡斑鳩町	円墳	40		横穴式石室・家形石棺
屋喜山8号墳	鳥取県倉吉市	不明			箱式石棺
上分中山1号横穴	島根県仁多郡仁多町	なし			横穴墓
高広1-3号横穴	島根県安来市	なし			横穴墓
岩崎山4号墳	岡山県井原市	円墳？	5		箱式石棺
赤羽根古墳7号主体	岡山県高梁市				箱式石棺
宮ノ谷1号墳	広島県三原市	不明			不明
朝田7号墳	山口県山口市	円墳			横穴墓
朝田10号墳	山口県山口市	円墳			横穴墓
大判石棺	山口県山口市	なし			箱式石棺
手光北支軍3号墳	福岡県宗像郡福岡町	方墳	9		竪穴式石室

： 副 葬 品	： 主体外部：時 期	出土遺物	： 被葬者数	： 被葬者	： 構 成	： 文 献
刀子 (女性), 鉄剣 (棺外)	4 C 末～ 5 C 初頭	2	男性, 女性	女性初葬 複数	三輪町教委1977	
鉄鍬	5 C 前半	2	男性 2	男性初葬 複数	宗像市教委1982, 永井1982a	
剣, 鉄鍬, 刀子	5 C	2	女性 2	女性初葬 複数	甘木市1979	
なし		2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	太 宰 府 町 教 委 1980, 永井1981c	
鎌, 刀子	4 C～ 5 C 前半	2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	宗像市1984, 九大 解 2 1988	
なし	古墳時代中 期	3	女性 3	女性初葬 複数	九大解 2 1988	
須恵器	7 C 前半	2	男性 2	男性初葬 複数	竹並遺跡調査会 1979, 九大 解 2 1988	
土師器	7 C 前半	2	男性 2	男性初葬 複数	竹並遺跡調査会 1979, 九大 解 2 1988	
須恵器	7 C 前半	2	女性 2	女性初葬 複数	竹並遺跡調査会 1979, 九大 解 2 1988	
なし	6 C 末	2	男性 2	男性初葬 複数	竹並遺跡調査会 1979, 九大 解 2 1988	
なし	6 C 後半	4	男性 1, 性別不 明 3	男性初葬 複数	竹並遺跡調査会 1979, 九大 解 2 1988	
須恵器, 土師器	6 C 末	2	男性 1, 幼児 1	男性初葬 複数	竹並遺跡調査会 1979, 九大 解 2 1988	
小玉	古墳時代前 期	2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	渡部編1975, 永井 1975C	
鉄鍬	古墳時代前 ～中期	2	男性 2	男性初葬 複数	九大解 2 1988	
刀, 剣, 甲冑, 斧, 鉄鍬, 骨鍬	5 C 代	2	男性 2	男性初葬 複数	島田1932	
なし	古墳時代前 期	2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	九大解 2 1988	

表 1. 人骨出土古墳（1 墳丘複数主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主 体 部	内 部 主 体
乃木松 5 号墳	福岡県朝倉郡三輪町	円墳	10		箱式石棺
浦谷 C-4 号墳	福岡県宗像市	円墳	8		竪穴系横口式石室
池の上 4 号墳	福岡県甘木市	方形周溝墓			竪穴式石室
宮ノ本 6 号墳	福岡県太宰府市	不明			箱式石棺
朝町妙見 2 号墳	福岡県宗像市	円墳			箱式石棺
富士原梅本 11 号墳	福岡県宗像市	円墳			横穴式石室
竹並 A-51-8 号横穴	福岡県行橋市	なし			横穴墓
竹並 A-51-10 号横穴	福岡県行橋市	なし			横穴墓
竹並 A-52-11 号横穴	福岡県行橋市	なし			横穴墓
竹並 G-61 号横穴	福岡県行橋市	なし			横穴墓
竹並 G-62-4 号横穴	福岡県行橋市	なし			横穴墓
竹並 H-45-5 号横穴	福岡県行橋市	なし			横穴墓
堂ノ上石棺	福岡県福岡市	不明（墳丘あり）			箱式石棺
蛇谷古墳	福岡県山門郡瀬高町	不明			石棺系竪穴式石室
宝満宮境内古墳	福岡県朝倉郡杷木町	不明			箱式石棺
稲佐神社グラウンド遺跡 XⅢ 号石棺	佐賀県杵島郡有明町	なし			箱式石棺

： 副 葬 品	： 主体外部 出土遺物	： 時 期	： 被葬者数	： 被葬者	： 構 成	： 文 献
刀子		古墳時代前期	2	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	福岡県教委1979, 永井1979
刀, 短刀, ヤリガンナ, ノミ, 斧, 鉞		5 C 代	2	男性 2	男性初葬 複数	福岡県教委1979, 竹重他1963
刀子		5 C 後半～ 6 C 前半	3	男性 1, 女性 2	男性初葬 複数	熊本県教委1982, 北条1982
管玉		5 C 後半～ 6 C 前半	2	女性 2	女性初葬 複数	熊本県教委1982, 北条1982
なし		古墳時代後期	2	女性 2	女性初葬 複数	熊本県教委1985
須恵器, 土師器		古墳時期後期	4	男性 4	男性初葬 複数	山鹿市教委1986・ 1988
鏡, 刀子		4 C 前半～ 中頃	2	女性 1, 不明 1	女性初葬 複数	山鹿市教委1989
なし		5 C 代	3	男性 1, 女性 2	男性初葬 複数	城南町教委1982
琴柱形石製品, 滑石製管 玉, 勾玉, 剣, 鉄鏃, 斧, 刀子		5 C 中葉	2	男性 1, 女性 1	女性初葬 複数	永井1982c, 城 2 号調査団1981
刀子, 土器		古墳時代前期	4	男性 1, 女性 1, 小児 1, 幼児 1	幼～若年 初葬複数	三角町教委1986, 土肥他1986e
刀子, 銅鈴, 櫛, 貝輪		5 C 代	5	男性 3, 女性 1, 小児 1	男性初葬 複数	乙益1956
鉄鏃 (棺外), 鉄剣, 刀 子 (棺内)		5 C 後半～ 末	3	男性 2, 女性 1	男性初葬 複数	大分県教委1991, 田中1991
鉄剣, 刀子, 鉄鏃, 矢筒 金具, 須恵器		5 C 後半～ 末	4	男性 2, 女性 2	男性初葬 複数	大分県教委1989b
鉄刀, 鉄鏃, 須恵器		6 C 前半	2 ?	男性 1, 女性 1	男性初葬 複数	大分県教委1989b
鉄刀, 鉄鏃, ガラス製丸 玉, 小玉, 耳環		5 C 後半	4	男性 2, 女性 2	男性初葬 複数	大分県教委1989b
鉄刀, 鉄剣, 鉄鏃, 鉄斧, ヤリガンナ		5 C 後半	3	男性 1, 女性 1, 性別不明 1	男性初葬 複数	大分県教委1989b
鉄鏃, 勾玉, 管玉, 丸玉, 須恵器, 土師器		5 C 末	3	男性 2, 女性 1	男性初葬 複数	大分県教委1989b
鉄剣, 鉄鏃, 刀子		5 C 後半	3	男性 1, 女性 1, 不明 1	男性初葬 複数	大分県教委1989b

表1. 人骨出土古墳（1墳丘複数主体単体埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主 体 部	内 部 主 体
祇園山2号墳北棺	福岡県久留米市	なし			土壙墓
七曲山1号墳	福岡県久留米市	円墳	13.5		竪穴式石室
要4号石棺	熊本県宇土郡三角				箱式石棺
要5号石棺	熊本県宇土郡三角				箱式石棺
古城38-1号横穴	熊本県熊本市	なし			横穴墓
湯の口131号横穴	熊本県山鹿市	なし			横穴墓
舞野2号石棺	熊本県山鹿市	なし			横穴墓
塚原1号石棺	熊本県下益城郡城南町	なし			箱式石棺
城2号墳	熊本県宇土市	円墳			竪穴系横口式石室
寺島5号墳	熊本県宇土郡三角町	なし			箱式石棺
大鼠蔵山1号棺	熊本県八代市	なし			箱式石棺
岩塚古墳	大分県玖珠郡玖珠町	低墳丘墓	10		箱式石棺
上ノ原11号横穴墓	大分県下毛郡三光村	方形	4		横穴墓
上ノ原19号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓
上ノ原21号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓
上ノ原25号横穴墓	大分県下毛郡三光村	方形	4		横穴墓
上ノ原27号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓
上ノ原30号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓

： 副 葬 品	： 主体外部 出土遺物	： 時 期	： 被葬者数	： 被葬者	： 構 成	： 文 献
鉄剣，鉄鍬，馬具，刀子， 須恵器		5 C 後半	7	男性 6，小児 1	男性初葬 複数	大分県教委1989b
なし		5 C 末～6 C 前半	3	男性 1，小児 2	男性初葬 複数	大分県教委1989b
鉄鍬，刀子		5 C 後半	4	男性 1，女性 3	男性初葬 複数	大分県教委1989b
刀，剣，鉾，鉄鍬，櫛， 刀子		6 C 前半	2	男性 1，女性 1	男性初葬 複数	三重町教委1983
刀，鉄鍬，多摩類		古墳時代前 期	5	男性 3，女性 2	女性初葬 複数	大分県教委1989a
鏡，鍬形石，剣，鉾，刀 子，土王		4 C 末	2	男性 2	男性初葬 複数	梅 原 1923，小 田 1968，内藤1968
櫛，刀子		4 C ～ 5 C 後半	3	男性 2，女性 1	男性初葬 複数	大分県教委1989

表 1. 人骨出土古墳 (1 墳丘複数主体単体埋葬)

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主 体 部	内 部 主 体
上ノ原35号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓
上ノ原63号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓
上ノ原64号横穴墓	大分県下毛郡三光村	なし			横穴墓
十六山横穴墓	大分県大野郡三重町	なし			横穴墓
草場第 2 遺跡 8 号墓	大分県日田市	方形周溝墓			箱式石棺
猫塚古墳	大分県北海士部郡佐賀関町	円墳?			箱式石棺?
草場第 2 遺跡 5 号墓	大分県日田市	方形周溝墓	12.5		箱式石棺

： 副 葬 品 ： 主 体 外 部 出 土 遺 物 ： 時 期 ： 被 葬 者 数 ： 被 葬 者 ： 構 成 ： 文 献

剣, 直刀		4 C 末～5 C 前葉	2	男性 2	男性初葬 複数	山城考古学研究所 1983
冠			1	男性 1	男性単体	宮原1990
環頭太刀, 弓, 馬具, 工 具, ガラス小玉, 金, 銅 製空玉, 須恵器, 土師器			3			
鏡, 鉄斧, 鉄剣			2	男性 1, 女性 1		岡山県教委1979, 川中1982a
なし		5 C 前葉	2	男性 1, 女性 1	女性初葬 複数	
なし		弥生時代終 末～古墳時 代初頭	2	女性 2	女性初葬 複数	
なし						
小刀, 鉄鎌, 刀子	葦石	4 C 前半	2	女性 1, 性別不 明 1		鏡野町1984
なし			1	性別不明 1	不明単体	
なし			2	性別不明 2	不明初葬 複数	
ヤリガンナ			1	男性 1	男性単体	
鏡, 小玉, 管玉			1	男性 1	男性単体	府中市教委1983, 吉岡1983
鏡, 勾玉, 管玉, 刀子, 鉄針		4 C 後半	2	男性 1, 女性 1	女性初葬 複数	
なし						
剣, 刀, 鏃, 刀子, 勾玉, 小玉, 鏡, 斧, 鑿葦石, 埴輪, 鉈 鍬先, 鎌						福岡市教委1989, 土肥他1989
鏡, 鉄剣, 短甲, 鉄鏃			2	男性 2	男性初葬 複数	
鏡, 刀, 剣, 矛, 鏃, 勾 玉, 霰玉, 管玉, 鎌, 馬 具, 甲冑, 鍬先, 鑿, 鋸			1	女性 1	女性単体	
剣, 鏃, 刀子, 斧, 鉈, 鎌, 矛			3	男性 1, 女性 1, 性別不明 1	不明初葬 複数	
		古墳時代前 期	2	男性 2	男性初葬 複数	九大解 2 1988

表1. 人骨出土古墳（1墳丘複数主体複数埋葬）

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主 体 部	内 部 主 体
稲葉山2号墳	京都府福知山市	方墳			箱式石棺
大谷今池2号墳	奈良県大和高田市	円墳	24	1号主体部 2号主体部	木棺墓 木棺墓
久米三成4号墳	岡山県久米郡久米町	前方後方墳 (方墳か?)	35	第1主体 第2主体	箱式石棺 箱式石棺
殿山21号墳	岡山県総社市	方墳?		第1主体	箱式石棺
竹田5号墳	岡山県苫田郡鏡野町	方墳		第2主体 中央北棺	箱式石棺 箱式石棺
				中央南棺 南棺	箱式石棺 箱式石棺
府中・山ノ神1号古墳	広島県府中市	円墳	12	東棺 第1号主体	箱式石棺 箱式石棺
				第2号主体	箱式石棺
老司古墳	福岡県福岡市南区	前方後円墳	76	第3号主体 1号石室	箱式石棺 竪穴系横口式石室
				2号石室	竪穴式石室
				3号石室	竪穴系横口式石室
				4号石室	竪穴系横口式石室
金立2号墳	佐賀県佐賀市	円墳		1号石室	竪穴式石室 不明

： 副 葬 品	： 主体外部 出土遺物	： 時 期	： 被葬者数	： 被葬者	： 構 成	： 文 献
不明		古墳時代前期	2	男性 1, 女性 1		
勾玉, 管玉		古墳時代中期	1	男性 1	男性単体	木下1959, 九大解2 1988
なし			2	男性 1, 性別不明	男性初葬複数	
不明						木下1959, 九大解2
鏡, 管玉			4	男性 3, 女性 1		佐田1972
			1	女性 1	女性単体	
			1	男性 1	男性単体	
			1	女性 1	女性単体	
勾玉, 白玉, 鉄製品		5 C 中葉～後半	2	男性 1, 女性 1	女性初葬複数	天瀬町教委1986, 土肥他1986a
鉄鏃, 刀子, 鉄斧		5 C 中葉～後半	3	女性 2, 男性 1	女性初葬複数	
管玉, 釧		5 C 中葉	1	女性 1	女性単体	佐田1972
振文鏡, 貝釧, 小玉, 刀, 剣, 鏃, 斧頭, 刀子, 鎌, ヤリガンナ, 金鏃, 釵, 棒状鉄器			3	女性 1, 男性 2	女性初葬複数	

表 1. 人骨出土古墳 (1 墳丘複数主体単体埋葬)

名 称	所 在 地	墳 形	墳丘規模(m)	主 体 部	内 部 主 体
小隈古墳 1 号	佐賀県佐賀郡大和町	円墳	18	2 号石室	竪穴式石室
				1 号石棺	箱式石棺
山下古墳	熊本県玉名市	前方後円墳	59	2 号石棺	箱式石棺
				3 号石棺	箱式石棺
				4 号石棺	箱式石棺
				後円部舟形石棺	舟形石棺
				前方部舟形石棺	舟形石棺
宇土 3 号墳	大分県日田郡天瀬町	不明		壺棺	壺棺
				壺棺	壺棺
				1 号石室	竪穴式石室
築山古墳	大分県北海部郡佐賀関町	前方後円墳	90	2 号石室	竪穴式石室
				北棺	箱式石棺
				南棺	箱式石棺

天瀬町教育委員会一九八六『宇土遺跡発掘調査報告書』天瀬町教育委員会、天瀬。

甘木市教育委員会一九七九『池の上墳墓群』甘木市文化財調査報告五。甘木市教育委員会、甘木。

甘木市教育委員会一九八二b『古寺墳墓群』甘木市文化財調査報告一四。甘木市教育委員会、甘木。

甘木市教育委員会一九八三『古寺墳墓群Ⅱ』甘木市文化財調査報告一五。甘木市教育委員会、甘木。

青山学院大学森台遺跡発掘調査団一九八三『千葉県山武町森台古墳群の調査』青山学院大学、東京。

筑紫野市教育委員会一九八二『阿志岐古墳群』筑紫野市文化財調査報告七。筑紫野市教育委員会、筑紫野。

太宰府町教育委員会一九八〇『宮ノ本遺跡』太宰府町文化財。太宰府町教育委員会、太宰府。

土井基司一九九二『横穴式石室からみた群集墳の諸相』『九州考古学』六七

土肥直美一九八九『草場第二遺跡出土の人骨について』『草場第二遺跡』大分県教育委員会、大分。

土肥直美・中橋孝博一九九一『津屋崎町宮司井手ノ上古墳の人骨について』『宮司井手ノ上古墳』津屋崎町教育委員会、津屋崎。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八六a『宇土遺跡出土の人骨』『宇土遺跡発掘調査報告書』天瀬町教育委員会、天瀬。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八六b『郷屋古墳（C地点）三号石棺出土の古墳時代人骨』『古文化談叢』一六。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八六c『A地点・B地点出土人骨』『郷屋遺跡』北九州市埋葬文化財調査報告四四。（財）

北九州市教育文化事業団埋葬文化財調査室、北九州。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八六d『草場第二遺跡八号周溝墓一号石棺出土の人骨』『九州横断自動車道建設に伴う発掘

調査』概報。大分県教育委員会、日本道路公団、大分。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八六e『寺島五号箱式石棺墓出土人骨の調査』『宇土半島古墳群分布調査報告六』三角町文

化財調査報告六。三角町教育委員会、三角。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八七『吹上遺跡出土人骨について』『日田地区遺跡群発掘調査概報Ⅱ』日田市教育委員会、

日田。

土肥直美・田中良之・永井昌文一九八九「老司古墳出土人骨について」『老司古墳』福岡市埋藏文化財調査報告書二〇九。福岡市教育委員会、福岡。

江本直・島津義昭・木村幾多郎一九七八「阿蘇谷の石棺」『九州考古学』五三。

府中市教育委員会、一九八三「府中・山ノ神一号古墳発掘調査報告」府中市教育委員会、府中。

福岡町教育委員会一九八一「手光古墳群Ⅰ」福岡町文化財調査報告書一。福岡町教育委員会、福岡。

福岡県教育委員会一九六三「銀冠塚」福岡県文化財調査報告書二八。福岡県教育委員会、福岡。

福岡県教育委員会一九七一「日上遺跡」福岡県文化財調査報告書四八。福岡県教育委員会、福岡。

福岡県教育委員会一九七七「九州縦貫自動車道関係埋藏文化財調査報告一八」福岡県教育委員会、福岡。

福岡県教育委員会一九七九「九州縦貫自動車道関係埋藏文化財調査報告二七」福岡県教育委員会、福岡。

福岡県教育委員会一九八四「九州縦貫自動車道関係埋藏文化財調査報告四」福岡県教育委員会、福岡。

福岡県教育委員会一九八六「九州縦貫自動車道関係埋藏文化財調査報告六」福岡県教育委員会、福岡。

福岡県立朝倉高等学校史学部一九六九「埋もれていた朝倉文化」福岡県立朝倉高等学校史学部、甘木。

福岡市教育委員会一九八二「藤崎遺跡」福岡市埋葬文化財調査報告書八〇。福岡市教育委員会、福岡。

福岡市教育委員会一九八九「老司古墳」福岡市埋葬文化財調査報告書二〇九。福岡市教育委員会、福岡。

埴原和郎・溝口優司・河原まき子・山田格一九七八「滝之城横穴墓群の人骨について」『滝之城横穴墓群』所沢市教育委員会、

所沢。

原口信行一九七九「京都平野の歴史的環境」『竹並遺跡』東出版、東京。

春成秀爾一九八七「縄文・弥生時代の親族組織をさぐる」『ウチとイエ（日本の古代Ⅰ）』中央公論社、東京。

橋口達也・永井昌文一九七八「大判石棺」山口市埋葬文化財調査報告六。山口市教育委員会、山口。

葉山杉夫一九七六「塚沢横穴古墳群出土の人骨について」『塚沢横穴古墳群』気仙沼市教育委員会、気仙沼。

林部均一九八五「粟原深谷一号墳」『大和を堀る一九八四年度発掘調査速報展』檀原考古学研究所附属博物館、檀原。

斐川町教育委員会一九八三「平野遺跡群発掘調査報告書一」斐川町埋葬文化財調査報告三。斐川町教育委員会、斐川。

広島県教育委員会一九八一「石槌山古墳群」広島県教育委員会、広島。

弘津史文一九二八「周防国赤妻古墳並茶臼山古墳（其二）」『考古学雑誌』一八（四）。

日田市教育委員会一九八七「日田地区遺跡群発掘調査概報Ⅱ」日田市教育委員会、日田。

北条暉幸一九七八「向野田古墳の人骨について」『向野田古墳』宇土市埋蔵文化財調査報告書二。宇土市教育委員会、宇土。

北条暉幸一九八二「要古墳出土の人骨について」『大見観音崎石棺群・大串古墳・要古墳群』熊本県文化財調査報告五七。熊本

県教育委員会、熊本。

北条暉幸・平山修一・木下洋介一九八〇「宇土市松山町南山内出土の箱式石棺」『宇土市史研究』創刊号宇土市史研究会、宇土

市教育委員会、宇土。

兵庫県教育委員会一九八三「半坂峠古墳群・辻遺跡」兵庫県文化財調査報告書一八。兵庫県教育委員会、兵庫。

飯塚市教育委員会一九九〇「川津遺跡群」飯塚市文化財調査報告書第一三集。飯塚市教育委員会、飯塚。

今井堯一九八二「古墳時代前期における女性の地位」『歴史評論』一九八一（二）。

池田次郎一九五四「三ツ城古墳出土人骨、並びに広島県下出土の古墳人骨について」『三ツ城古墳』広島県文化財調査報告一。

広島県教育委員会、広島。

池田次郎一九八一「石槌山第一号、第二号古墳及び吹越第八号古墳出土の人骨について」『石槌山古墳群』広島県教育委員会、

広島。

城南町教育委員会一九八二「塚原古墳群調査報告書」城南町文化財調査報告三。城南町教育委員会、城南。

城二号墳発掘調査団一九八一「城二号墳」宇土市埋蔵文化財調査報告書三。宇土市教育委員会、宇土。

鏡山猛一九五五「福岡県行橋市琵琶隈古墳」『日本考古学年報』八

鏡野町教育委員会一九八四『竹田墳墓群』竹田遺跡発掘調査報告第一集。鏡野町教育委員会、鏡野。

亀井明德一九八二『谷口古墳』『末盧国』六興出版、東京。

春日町教育委員会一九六九『一の谷遺跡』春日町文化財調査報告書二、春日町教育委員会、春日。

春日市教育委員会一九八一『西平塚・ナライ遺跡』春日市文化財調査報告書一〇。春日市教育委員会、春日。

川中健二一九八二a『殿山古墳群出土人骨について』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告四七。岡山県教育委員会、岡山。

川中健二一九八二b『鑑定結果報告』岡山県埋葬文化財報告一。岡山県教育委員会、岡山。

川西宏幸・辻村純代一九九一『古墳時代の巫女』『博古研究』二

川崎利夫一九八三『日本の古墳遺跡山形』保育社、東京。

気仙沼市教委一九七六『塚沢横穴墓群』気仙沼市教育委員会。気仙沼。

菊水町教育委員会一九八三『赤帆原』菊水町文化財調査報告五。菊水町教育委員会、菊水。

木下之治一九五九『佐賀県大和村小隈古墳調査報告』『考古学雑誌』四四（三）。

北九州市教育文化事業団埋葬文化財調査室、一九八六『郷屋遺跡』北九州市埋葬文化財調査報告書四四。（財）北九州市教育文

化事業団埋葬文化財調査室、北九州。

小林行雄一九五一『日本考古学概説』創元社、東京。

小林行雄一九五九『古墳の話』岩波書店、東京。

児島隆人・藤田等編一九七三『嘉穂地方史』先史編。嘉穂地方史編纂委員会、飯塚。

近藤義郎一九六六『古墳とはなにか』『日本の考古学Ⅳ』河出書房新社、東京。

熊本県教育委員会一九八二『大見観音崎石棺群・大串古墳群・要古墳群』熊本県文化財調査報告五七。熊本県教育委員会、熊本。

熊本県教育委員会一九八五『古城横穴墓群』熊本県文化財調査報告七四。熊本県教育委員会、熊本。

藏内古文化研究所一九六四『稲童古墳群第一次調査抄報』藏内古文化研究所、東京。

藏内古文化研究所一九六五『稲童古墳群第一次調査抄報』藏内古文化研究所、東京。

倉吉市教育委員会一九八三『四王寺地域遺跡群遺跡詳細分布調査報告書』倉吉市教育委員会、倉吉。

京都府教育委員会一九六一『京都府文化財調査報告二』京都府教育委員会、京都。

九州大学考古学研究室一九六五『おつは山神籠石』武雄市、武雄。

九州大学医学部解剖学第二講座一九八八『日本民族・文化の生成』九州大学医学部解剖学第二講座所蔵古人骨集成』六興出版、

東京。

間壁霞子一九六二『出土人骨の性別よりみた古代社会の一考察』『岡山県史学』一一。

間壁霞子一九八七『考古学からみた女性の仕事と文化』『女性の力（日本の古代一二）』中央公論社、東京。

間壁忠彦一九六八『岡山県下の人骨を出土した小古墳六例』『倉敷考古館研究集報』第四号

松尾昌彦一九八三『前期古墳における墳頂部多葬の一考察』『古墳文化の新視角』雄山閣、東京。

松尾慎作一九五二『佐賀県杵島郡稲佐古墓群と火葬址』『日本考古学年報五』

松下孝幸一九八二『山口県朝田墳墓群第Ⅱ地区出土の人骨』『朝田墳墓群Ⅴ』山口県埋蔵文化財調査報告六四。建設省山口工事

事務所・山口県教育委員会、山口。

三重町教育委員会一九八三『一六山横穴墓』三重町教育委員会、三重。

三島格・金岡丈夫・永井昌文一九七九『狐塚第二号墳調査報告書』荒尾市文化財調査報告四、荒尾。

三角町教育委員会一九八六『宇土半島古墳群分布調査報告』三角町文化財調査報告書六。三角町教育委員会、三角。

三輪町教育委員会一九七七『乃木松古墳群』三輪町文化財調査報告書三。三輪町教育委員会、三輪。

宮原晋一九九〇『大谷今池古墳群（二号墳）』『大和を掘る一九八九年度発掘調査速報展一〇』橿原考古学研究所附属博物館、

橿原。

森本岩太郎・高橋譲一九七八「西本谷A―五号横穴出土人骨について」『千葉県木更津市中尾横穴発掘調査報告』千葉県教育委員会、千葉。

森本岩太郎・小片丘彦一九八三「第一九号墳出土人骨について」『千葉県山武町森台古墳群の調査』青山学院大学森台遺跡発掘調査団、東京。

宗像市教育委員会一九八二「浦谷古墳群Ⅰ」宗像市文化財調査報告書五。宗像市教育委員会、宗像。

宗像市教育委員会一九八四「埋葬文化財発掘調査概報一九八三年度」宗像市文化財調査報告書七。宗像市教育委員会、宗像。

村上久和一九八五「まとめ」『上ノ原遺跡群Ⅳ』大分県教育委員会、大分。

内藤晃・大塚初重(編)一九六一「三池平古墳」庵原村教育委員会、庵原。

内藤芳篤一九六八「猫塚古墳の人骨」『大分県文化財調査報告一五』大分県教育委員会、大分。

永井昌文一九六三「神崎古墳人骨について」『銀冠塚』福岡県文化財調査報告書二八、福岡県教育委員会、福岡。

永井昌文一九六九「一の谷遺跡出土人骨」『一の谷遺跡』春日町文化財調査報告書二、春日町教育委員会、春日。

永井昌文一九七〇「荒田比貝塚」大牟田市教育委員会、大牟田。

永井昌文一九七三「三号墳埋葬人骨」『栗崎山古墳群』飯塚市教育委員会、飯塚。

永井昌文一九七五「人骨」『志賀島』福岡市・金印遺跡調査団、福岡。

永井昌文一九七七「朝田墳墓群第Ⅲ地区出土の人骨について」『朝田墳墓群Ⅱ・鴻ノ峰Ⅰ号墳』山口県埋葬文化財調査報告書三

三。建設省山口工事事務所・山口県教育委員会。

永井昌文一九七九「人骨」『九州縦貫自動車道関係埋葬文化財調査報告二七』福岡県教育委員会、福岡。

永井昌文一九八一a「出土人骨の鑑定」『藤崎遺跡』福岡市埋葬文化財調査報告書六一。福岡市教育委員会、福岡。

永井昌文一九八一b「神田山石棺人骨」『神田山石棺』山口市埋葬文化財調査報告二二。山口市教育委員会、山口。

永井昌文一九八一c「宮ノ本遺跡出土の人骨」『筑前国分尼寺跡・陣ノ尾遺跡』太宰府町の文化財四。太宰府町教育委員会、太

宰府。

永井昌文一九八一 d 「西平塚遺跡出土人骨について」『西平塚・ならい遺跡』春日市文化財調査報告書一〇。春日市教育委員会、春日。

永井昌文一九八二 a 「浦谷古墳群出土人骨について」『浦谷古墳群上』宗像市文化財調査報告書五。宗像市教育委員会、宗像。

永井昌文一九八二 b 「前方部人骨」『末盧国』六興出版、東京。

永井昌文一九八二 c 「城二号墳人骨について」『宇土市史研究三』宇土市史研究会・宇土市教育委員会、宇土。

永井昌文一九八三 「立山山人骨」『立山山古墳群』八女市文化財調査報告書一〇。八女市教育委員会、八女。

永井昌文一九八六 「甘木市柿原古墳群人骨鑑定結果」『九州横断自動車道関係埋葬文化財調査報告六』福岡県教育委員会、福岡。

奈良県教育委員会一九七七 『奈良県埋葬文化財調査報告書一』奈良県教育委員会、奈良。

奈良県教育委員会一九七五 「宇陀・丹切古墳群」奈良県史跡名勝天然記念物調査報告三〇。奈良県教育委員会、奈良。

奈良県立橿原考古学研究所一九七六 「葛城・石光山古墳群」奈良県史跡名勝天然記念物調査報告三二。奈良県立橿原考古学研究所、橿原。

奈良県立橿原考古学研究所一九七七 『竜田御坊山古墳』奈良県史跡名勝天然記念物調査報告三二。奈良県立橿原考古学研究所、橿原。

橿原。

仁多町教育委員会一九八三 『仁多町上分中山横穴群調査概要』仁多町教育委員会、仁多。

小田富士雄一九六八 「中ノ原・馬場古墳緊急発掘調査」大分県文化財調査報告一五。大分県教育委員会、大分。

大林太良一九八七 「親族構造の概念と王家の近親婚」『ウヂとイエ（日本の古代一一）』中央公論社、東京。

大分県教育委員会一九八五 「九州横断自動車道建設に伴う発掘調査概報」大分県教育委員会・日本道路公団、大分。

大分県教育委員会一九八六 「九州横断自動車道建設に伴う発掘調査概報」大分県教育委員会・日本道路公団、大分。

大分県教育委員会、一九八九 a 「草場第二遺跡」大分県教育委員会、大分。

大分県教育委員会一九八九b「上ノ原横穴墓群Ⅰ」大分県教育委員会、大分。

大分県教育委員会一九九一a「九州横断自動車道関係埋葬文化財調査概報―日田―玖珠間―Ⅰ」大分県教育委員会、大分。

大牟田市教育委員会一九七二「荒田比貝塚」大牟田市教育委員会、大牟田。

大和久震平一九七四「七廻り鏡塚古墳」帝国地方行政学会、東京。

岡山県教育委員会一九七九「久米三成四号墳」岡山県埋葬文化財発掘調査報告書三〇。岡山県教育委員会、岡山。

岡山県教育委員会一九八一「赤羽根古墳群発掘調査報告」岡山県埋葬文化財報告一。岡山県教育委員会、岡山。

岡山県教育委員会一九八二「殿山遺跡・殿山古墳群」岡山県埋葬文化財発掘調査報告四七。岡山県教育委員会、岡山。

大宮町教育委員会一九八七「大谷古墳」大宮町文化財調査報告四。大宮町教育委員会、大宮町。

乙益重隆一九五六「八代市大鼠蔵山古墳」『考古学雑誌』四一（四）。

小山市教育委員会一九七二「桑五七号墳」小山市教育委員会、小山。

佐野一・一九六七「佐賀県東松浦郡浜玉町谷口古墳の前方部より出土した舟形石棺とその人骨」『九州考古学』三二。

佐野一・亀井明德一九六九「福岡県鞍手郡若宮町西の浦古墳調査概報」『九州考古学』三六・三七。

山東町教育委員会一九七五「柿坪中山古墳群第一集」山東町教育委員会、山東。

佐田茂一九七二「出土人骨からみた後半期古墳の被葬者」『九州考古学』四六。

佐田茂一九七九「横穴墓の被葬者」『竹並遺跡』東出版寧楽社、東京。

佐田茂一九八八「古墳被葬者の変化する一側面」『日本民族・文化の生成』六興出版、東京。

柴田泰典・渡辺正氣一九六二「福岡県三井郡小郡町花登発見の一箱式小石室」『九州考古学』一六。

島五郎一九五七「奈良県五條市字出屋敷塚山古墳人骨について」『奈良県埋葬文化財調査報告書一』奈良県教育委員会、奈良。

島五郎一九六六「徳島市恵解山・節句山古墳人骨について」『徳島市眉山周辺の古墳調査報告』徳島県教育委員会、徳島。

島田寅次郎一九三二「箱式石棺内に於ける合葬遺蹟の調査」『史蹟名勝天然記念物調査報告書七』福岡県、福岡。

島根県教育委員会一九七二『松江・東光台古墳』島根県埋蔵文化財報告書Ⅳ。島根県教育委員会、松江。

島根県教育委員会一九八四『高広遺跡発掘調査報告書』島根県教育委員会、松江。

志免町教育委員会一九七四『七夕池遺跡群』志免町文化財調査報告書一。志免町教育委員会、志免。

瀬上直孝・佐野一一九五八『山口県下松市山根古墳出土の人骨に就いて』『人類学研究』五（二一四）。

鈴木尚一九六一『三池平古墳出土の人骨について』『三池平古墳』庵原村教育委員会、庵原。

鈴木尚・尾本恵市一九七四『七廻り鏡塚古墳人の遺体と頭髮』『七廻り鏡塚古墳』帝国地方行政学会、東京。

鈴木誠・池田次郎一九五一『備後国龍王山古墳出土人骨』『人類学輯報』五。

田頭喬・山中英彦一九八六『北九州市・長行の郷屋古墳』『古文化談叢』一六。

高橋静・伊藤泰照一九五五『福岡県京都郡犀川村上柴山古墳及び節九大塚発見の古式古墳に就いて』『人類学研究』二（二一四）。

高木恭二一九八一『肥後南部の石棺資料（一）』『宇土市史研究』第二号宇土市史研究会・宇土市教育委員会、宇土。

高群逸枝一九五四『女性の歴史上』講談社、東京。

竹並遺跡調査会一九七九『竹並遺跡』東出版、東京。

竹重順夫・宮崎道雄・伴文夫・秦洋一・田中瑞穂・米光一仁・西村四郎・佐藤常人一九六三『久留米市山川町七曲発掘の人骨群

について』『久留米医学会雑誌』二六。

竹重順夫・宮崎道夫・金谷庄司一九六八『福岡県朝倉郡朝倉町大字菱野字妙見発掘の人骨について』『久留米医学会雑誌』三一

（四）。

田中良之一九九〇『朝田墳墓群被葬者の親族関係』『九州文化史研究所紀要』三五。

田中良之一九九一a『岩塚古墳出土人骨について』『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査概報一 日田・玖珠間一』大分県教

育委員会、大分。

田中良之一九九一b『横穴墓被葬者の情報』『大分考古』四。

田中良之一九九二a「一石室多数埋蔵の被葬者」『九州文化史研究所紀要』三七。

田中良之一九九二b「出土人骨から推定する親族構造」『考古学ジャーナル』三四八。

田中良之・土肥直美一九八六「古墳被葬者の親族関係について」『日本考古学会第五二回総会発表要旨』日本考古学協会、東京。

田中良之・土肥直美一九八七「古墳時代の親族関係について」『九州人類学会報』一五。

田中良之・土肥直美一九八九「出土人骨から親族構造を推定する」『新しい研究法は考古学になにをもたらしたか』クバプロ、東京。

田中良之・土肥直美・船越公威・永井昌文一九八五「上ノ原横穴墓被葬者の親族関係」『上ノ原横穴群Ⅳ』大分県教育委員会、大分。

千葉県教育委員会一九七八『千葉県木更津市中尾横穴発掘調査報告』千葉県教育委員会、千葉。

東京都教育委員会一九七八『都内横穴墓緊急調査集録』東京都埋蔵文化財調査報告五。東京都教育委員会、東京。

所沢市教育委員会一九七八『滝之城横穴墓群』所沢市文化財調査報告書二。所沢市教育委員会、所沢。

鳥取県教育文化財団一九八三『長瀬高浜遺跡発掘調査報告書Ⅵ』鳥取県教育文化財団、鳥取。

辻村純代一九八三『東中国地方における箱式石棺の同棺複数埋葬』『季刊人類学』一四（二）。

辻村純代一九八八「古墳時代の親族構造について」『考古学研究』三五（一）。

徳島県教育委員会一九八六『徳島県眉山周辺の古墳調査報告』徳島県教育委員会、徳島。

津屋崎町教育委員会一九九一『宮司井手ノ上古墳』津屋崎町文化財調査報告書七。津屋崎町教育委員会、津屋崎。

梅原末治一九二三「北海部郡に於ける二三の古墳」『大分県史蹟名勝天然記念物調査報告二』

梅原末治一九五三『玉島村谷口古墳』佐賀県文化財調査報告一、佐賀県教育委員会、佐賀。

宇佐風土記の丘歴史民俗資料館一九八六『免ヶ平古墳』宇佐。

宇土市教育委員会一九七八『向野田古墳』宇土市埋蔵文化財調査報告書二。宇土市教育委員会、宇土。

渡部明夫（編）一九七五『志賀島』福岡市・金印遺跡調査団、福岡。

和田山町教育委員会一九七八『秋葉山墳墓群』和田山町教育委員会、和田山。

山鹿市教育委員会一九八六『湯の口横穴群』山鹿市立博物館調査報告書五。山鹿市教育委員会、山鹿。

山鹿市教育委員会一九八八『湯の口横穴群（Ⅱ）』山鹿市立博物館調査報告書八。山鹿市教育委員会、山鹿。

山鹿市教育委員会一九八九『銭亀塚古墳ほか』山鹿市立博物館調査報告書九。山鹿市教育委員会、山鹿。

山口敏・溝口優司・中塚彰子一九七八『横穴墓出土人骨の概要』『都内横穴墓緊急調査収録』東京都埋葬文化財調査報告五。東京都教育委員会、東京。

山口県教育委員会一九七七『朝田墳墓群Ⅱ・鴻ノ峰Ⅰ号墳』山口県埋葬文化財調査報告書三三。建設省山口工事事務所・山口県教育委員会、山口。

山口県教育委員会一九八一『くろかわ』山口県埋葬文化財調査報告五七。建設省山口工事事務所、山口。

山口県埋蔵文化財センター一九八二『朝田墳墓群Ⅴ』山口県埋蔵文化財調査報告六四。建設省山口工事事務所・山口県教育委員会、山口。

山口市教育委員会一九七八『茶臼山石棺群・大伴石棺調査報告書』山口市埋蔵文化財調査報告六。山口市教育委員会、山口。

山城考古学研究会一九八三『丹波の古墳Ⅰ』山城考古学研究所、京都。

八女市教育委員会一九八三『立山山古墳群。八女市文化財調査報告書一〇』八女市教育委員会、八女。

吉岡郁夫一九八三『出土人骨の人類学的検討』『府中・山ノ神Ⅰ号古墳発掘調査報告』府中市教育委員会、府中。